

三春町教育委員会 事務点検・評価報告書 (令和4年度対象)

令和5年12月

三春町教育委員会

～目 次～

I 点検及び評価書

・ 総括評価	1 ～ 8
・ 教育課 教育総務グループ	9 ～ 12
・ 教育課 学校教育グループ	13 ～ 18
・ 生涯学習課 生涯学習グループ	19 ～ 21
・ 生涯学習課 社会体育グループ	22 ～ 24
・ 生涯学習課 歴史民俗資料館	25 ～ 27
・ 生涯学習課 町民図書館	28 ～ 32
・ 生涯学習課 児童生活センター	33 ～ 35

II 事務報告書

・ 教育課 教育総務グループ	1 ～ 10
・ 教育課 学校教育グループ	11 ～ 14
・ 生涯学習課 生涯学習グループ	15 ～ 25
・ 生涯学習課 社会体育グループ	26 ～ 30
・ 生涯学習課 歴史民俗資料館	31 ～ 37
・ 生涯学習課 町民図書館	38 ～ 48
・ 生涯学習課 児童生活センター	49 ～ 55

I 点検及び評価書

令和4年度 三春町教育委員会事務点検及び評価

総括評価

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、各種経験と情報共有から新しい生活様式が構築されました。

感染予防を徹底しながら、多くの教育行政の各種施策が着実に展開推進されており、学校教育関係者・生涯学習関係者に敬意を表します。

「三春町第1期教育大綱」2年目、新学習指導要領改革で掲げられた課題「IT化やグローバル化を生き抜くための資質・能力を育むために「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改革」の課題達成には、教育大綱の中の「三春町学校教育アドバイザー事業」が大きく貢献すると期待致します。計画に沿って着実に推進されており、弛まぬ継続を望みます。

以下に各部門別重点施策の実施状況についてコメントさせていただきます。

◇教育総務グループ

1) タブレット端末やデジタル教科書の活用のため、特別支援教室や特別教室への電子黒板設置は、教育享受平等対応として評価致します。

2) 学校の施設整備について、校舎の増改築、和式トイレの洋式トイレ更新、省エネに向けたLED照明への更新等を評価致します。

少子化進行速度加速化で、学校の閉校が避けられない事態も予想されます。将来の展望を見極め、設備改修投資の最善策を望みます。

◇学校教育グループ

1) 学校教育アドバイザー事業において、児童・生徒及び教職員の「主体的・対話的で深い学び」の実践授業研究が、各校年2回確実に実施され成果が顕在化していることを高く評価すると共に、弛まぬ継続実施を望みます。

2) GIGAスクール整備で学習端末が1人1台配備となりました。

情報端末の授業必需性を認識する中で、情報端末の危険性(いじめ・SNSトラブル等)を避けて通ることはできません。児童・生徒・保護者に対する情報端末の適正利用の資質・能力育成の啓蒙と手引きによる周知が望まれます。

3) 特別支援教育について、幼児の特性等の早期発見と就学・自立を見通した児童・保護者に寄り添った相談が多数行われています。また、質の高い教職員養成の研修・指導も実施され高く評価致します。

◇生涯学習グループ

1) まほらミュージックプロジェクトについて、町内の小中学生・高校生及び町民を対象にした音楽文化の振興事業実施を評価致します。小中学高校生にとって、その年齢でしか体験できない大きなイベントであります。毎年継続開催されることを望みます。

2) 国際交流事業について、新型コロナウイルス感染症の影響から、海外派遣の代替え計画として国内留学(ブリティッシュヒルズ研修)が企画実行されたことを評価致します。国内留学の場合、行政負担及び個人負担が抑えられます。人員の拡大募集により、多くの児童生徒に国際感覚を身に付ける機会提供を望みます。

3) 三春交流館運営協会と連携した芸術事業は、町民の芸術文化鑑賞の機会として定着しております。企画実行された各公演において、ほぼ満席の盛況で開催されており高く評価致します。

三春交流館運営協会と連携した事業の継続推進を望みます。

◇社会体育グループ

1) スポーツ振興事業について、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、町の主要スポーツ大会位置づけの、さくら湖マラソン大会・町民ソフトボール大会・家庭バレーボール大会・うつくしまみずウオーク三春大会を一部規模縮小で開催されたことを評価致します。

また、町選手団編成の市町村対抗軟式野球大会・市町村対抗ソフトボール大会・第34回ふくしま駅伝大会に、町代表として参加し顕著な実績を残されたことを評価致します。

2) 体育施設の長寿命化の取り組み及び公共施設利用予約システム導入に伴う社会体育施設での利用拡大事務効率化を評価致します。

◇歴史民俗資料館

1) 滝ザクラ天然記念物指定100年記念の節目を迎え、滝ザクラの保護・保存の取り組みを評価すると共に、弛まぬ活動の継続を望みます。

2) 町内の指定文化財等について、有形文化財・埋蔵文化財・民俗芸能等お宝遺産の弛まぬ保存管理を評価致します。

◇町民図書館

図書館利用向上施策、開館時間の延長・桜ホールサービス提供、図書館管理システム更新・地区交流図書室利活用推進・図書館ボランティアによる「おはなし会」等の地道な活動推進を評価致します。

◇児童生活センター

1) 児童クラブ運営事業について、感染防止に努めながら放課後留守家庭となる児童が過ごす場所として3箇所が運営されています。各児童クラブとも多数の児童が在籍し、安全で有意義な時間を過ごしております。更に増加傾向の見通しから、受け入れ準備が進められていることを高く評価致します。

また、各クラブとも季節行事が企画実行されており教職員に敬意を表します。

2) まほらっこ教室運営事業について、放課後の児童の安全な居場所として地域のボランティアのご協力により運営されていることを評価致します。

上記事業について、日本の経済停滞から核家族共働き世帯が、子育て世帯の6割を超えており弛まぬ事業継続が求められます。

外部評価者 渡辺 勉

三春町教育委員会事務点検・評価報告書

令和4年度重点施策の事業を推進するにあたり、変わりゆく社会情勢（AI、グローバル化、SDGs、少子化、感染予防、異常気象の熱中症対策）を考慮しながら、下記に教育課と生涯学習課の評価を報告致します。

教育課

● 教育総務グループ

* 地域と歩む学校づくり

学校運営協議会ができて10年。地域と歩む学校づくりの実践の中で、地域の教育力は高まっていると推察されます。

児童・生徒の安全・安心な環境づくりにおいては、学校、地域住民、警察などが連携することで、児童・生徒が守られていると考えます。

地域ボランティアを巻き込み、地域・地域住民と共に学ぶことで今後の地域と共にある学校づくりに役立つことと考えます。

また、ボランティアの件ですが、学校運営協議会の委員から、地域の人に学校の事業に、ボランティアとして協力をお願いをするのも一つの方法と考えます。

* 夢をかなえるたくましい心身の育成

自己管理能力の育成に力をいれて、児童・生徒の成長段階において指導があり、成長段階で、薬物乱用防止教室、中学3年生へ性に関する指導など大事な健康教育がなされていることを大いに評価します。

* 教育環境の整備

年次計画に沿って実施しようとしていること、ICT環境の整備が整い教職員の学業効果の高い授業実現を支援したことを期待します。

＊児童・生徒の安心・安全な環境づくり

児童・生徒の見守りのために通学路の危険箇所を地域と共に情報を共有しましたが、児童・生徒も巻き込んでの共有をこれから期待します。

コミュタンの訪問・見学はこれからの放射線教育のあり方だと考えます。今後も正しい放射線の知識を専門家から学ぶことを期待します。

● 学校教育グループ

＊夢を支える確かな学力の育成

GIGA スクールを目指し児童に 1 人 1 台のタブレットを効果的に用いわかりやすい授業を展開できたことを大いに評価します。

タブレットの使い方の指導で問題が起きないことを願っています。

● 夢を育む豊かな心の育成において

三春町の地域住民の協力で、自然体験活動の推進は郷土愛の育成やキャリア教育の充実で生き方学習に大いに役立ったと考えます。

● 特別支援教育の推進

インクルーシブ教育システムの方向性が見えてきたことに期待します。その中で、教育に関心を持ち知識、技能を持つ人材の確保が一番大事なことを考えます。

年を重ねるごとに、成長が伸びているのを見ると教育に対する力を感じます。地域全体で特別支援教育に協力できることを期待します。

＊教職員の資質の向上

アドバイザー事業において、子供の学びに学ぶのテーマから 3 年間学んだ先生たちの今後に期待します。

教員の働き方改革は必要です。教員が教員でいられるのは、どのくらいの時間か、今日はクラスの生徒全員に声をかけただろうかなどハードな職

種になっていると考えます。児童生徒と向き合う時間はどのくらいあるのか、中学校の部活指導の先生の健康は大丈夫かと考えないではいられません。

* 一人一人個性を生かす環境づくり

様々な環境づくりで、生徒が自分に対して、自己肯定感をもてたことはよい傾向だと思います。

全国でも大きな問題になっているいじめや不登校に対して、早急な対処が必要です。「チーム学校」とともに家庭、地域社会と大きなつながりを持ち、大きな広がりを受け止めてくれることを願います。

児童・生徒はいつか大人になることを学んでくれたらと思います。せっかく学校に来たのだから、体験、学び、いろいろなことを学び、我慢する心、思いやりが、なぜ必要かなど身をもって知るチャンスに恵まれることを期待します。

生涯学習課

● 生涯学習グループ

* 学びへの参加のきっかけづくりの推進

町民のニーズ、高齢者学級、まほらミュージックプロジェクトなど多岐にわたって町民の要望を集約していると考えます。生涯学習活動団体の活動支援、学習発表の場の提供、ICTを活用した学習支援の整備、文化祭の開催など町民に、学びの楽しさを伝えたいと思います。

ICTにおいては、不慣れな町民に窓口でタブレットの利用の仕方の理解を図ったことは、これからの社会に知識として必要不可欠な学習を伝えたことになり、ICTの啓蒙に役立ったと評価します。

*多様な主体との連携と協働の推進

三春町交流館運営協議会と連携した芸術鑑賞教室、三春町国際交流協会と連携した国際交流事業、三春ダムと連携した環境フォーラムを開催したことにおいて、住民に生涯学び続ける楽しさを提供したと考えます。

ただ国際交流協会の事業は、以前のように大人から子供まで参加できる事業も企画してくれることを期待します。

*学習成果を地域に生かす実践機会の促進

生涯学習人材ガイドがあるのに利活用がないのは、行政のサービスが行き届いているため、町民の要望がないことと考えられるし、人材ガイドがあることを知らないとも考えられ、人材ガイドの周知は今後の課題だと考えます。

●社会体育グループ

*社会体育事業の振興

社会体育事業の振興、町民参加型の大会・教室、体力・健康づくりにつながる各種スポーツ大会の開催など、今後もスポーツに親しむ機会に大いに役立ったと思います。今後は、スポーツの嫌いな人にスポーツを楽しむきっかけ作りを期待します。

*社会体育施設の管理運営と利便性向上

バリアフリー化のスロープ設置は、SDGsの社会にあってよかったと評価します。

●歴史民俗資料館

*文化財保護の推進と支援

文化財調査で、御祭地区の厳島神社の天井画を調査・整理し地区の人たちに解説したことは、自分の地区に誇りを持てたことと推察します。

今後も文化財の調査を期待します。

＊文化財の保存・公開施設の管理運営

紫雲閣の修繕工事を完了したことは、三春町に宝物がひとつ増えたことと考えます。今後の利活用に期待します。

＊展示・公開・各種講座・広報活動の充実

三春城 VR、河野広中の特別展と大きな企画があり、興味深いものです。特に VR は、タイムスリップができ、楽しめる体験です。たくさんの人に伝えられたらと思います。

● 図書館

＊図書館活用推進

開館時間を延長したことで、利用者が増加、町民の居場所づくりと前向きな取り組みになり素晴らしいと思います。今後も利用者に親しまれる町民図書館になっていくことを期待します。

利用者へのレファレンスサービス工夫が見られ、社会の必要性に合わせていることを評価します。

＊利用者サイドに立った図書館運営

ネットを利用したことで、広域圏の蔵書図書資料などが利用できるようになったこと、利用予約もできることで、新規の利用者が増えたことを評価します。

＊歴史・文化を継承した社会づくり

桜ホールを利用した蔵書の展示や読み聞かせは、画期的な活動だと評価します。

＊各地域へのサービス

各地域の図書館サービスはなくてはならないものになっていると思います

す。高齢化社会になっている中で、期待される事業だと考えます。

＊学校との連携・学習支援

幅広い年齢層を対象にした活動をしていることで連携がとれ、本の好きな人口が増えてくるのではと期待します。

＊放課後児童健全育成事業

放課後の子供の安全・安心の管理においていろいろな工夫をしていること、楽しそうな活動になっていることを大いに評価します。

ダンスバトルなどがあり、楽しんでいることに大変感心しました。

指導員を積極的に増加傾向にある児童のことを考え資格取得者に研修させることを大いに評価します。

＊放課後こども教室事業

児童クラブのない地区では、保護者の実態に合わせて「まほらっこ教室」が、児童の安全・安心になっていることを大いに評価します。

今後も児童の指導員のボランティアを確保できることを願います。

児童・生徒には、学校は大人になるための学びの場、生涯学習は大人のための生きがいつくりの場の両輪で、活躍できる社会の実現で、三春町民であることを誇りに思い、積極的に学びに参加することを期待します。

報告者 降矢 由美子

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

基本施策 夢を支える環境づくり

施策1 地域と歩む学校づくり

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①コミュニティ・スクール推進事業の充実	前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催となることがあったが、今年度は各学校運営協議会において、年3～5回の会議を対面で開催し、学校運営や支援、地域との連携、通学路の安全確保等について積極的な議論を行うことができた。					
②地域の教育力を生かした教育活動の推進	地域の教育資源や人材の発掘に努め、それらを生かした教育活動を展開した。地域と共にある学校づくりの視点からは、それぞれの地区に関する理解を深める指導が必要と考える。					
③地域住民による教育参加推進	新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、地域のボランティアを招いての活動や児童生徒が外に出て地域と触れ合い、地域を理解する活動を実施した。今後もねらいや視点を明確にした、地域を巻き込んだ教育活動が期待される。					
④地区教育懇談会の開催	開催なし					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①小中学校への学習支援ボランティアのべ人数	人	1,200	606	294		
施策の進捗状況						
三春町全校に学校運営協議会が設置され10年になろうとしている。学校に対する地域からの協力体制は整っており、地域の教育資源や人材を活用した教育活動が確実に推進されている。さらには、今後の方向性として、地域と共にある学校づくり、地域に開かれた教育課程づくりの方向性をふまえた上で、学校と地域が、三春町の持続可能な学校・地域づくりに関わる共同経営者としての学校運営協議会の運営が期待される。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

施策2 夢をかなえるたくましい心身の育成

施策の展開		令和4年度取組状況・実績					
①心身共に健康な体の育成と体力の向上		原発事故後の運動制限は解除されたが、現在、新型コロナ対応で運動等の制限がある。外出や人混み等への外出制限によるトレス等から心身への影響が懸念されるため、観察や相談体制に配慮すると共に、SC・SSWの効果的な活用を各校に働きかけている。					
②健康教育の充実と健康に関する自己管理能力の育成		児童生徒自身による自己管理能力の育成という生徒指導上のねらいは健康教育においても同様で、中3への性に関する指導、薬物乱用防止教室、食べる力・感謝の心・郷土愛を育む『食育』においても、そのねらいを自身による自己管理能力の育成においている。					
③学校給食の充実と「つながる食育」の推進		学校給食の充実のため、地場産物の積極的な活用、備品の購入及び施設の修繕、関係者間での情報共有等を行った。 また、各校にて栄養教諭及び学校栄養職員を活用した食育指導や、学校給食メニュー調理動画の公開等を行った。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	
①運動の得意な児童生徒の割合	%	小(男)40 小(女)40 中(男)40 中(女)50	小(男)34.9 小(女)45.6 中(男)42.9 中(女)76.8	小(男)37.8 小(女)47.5 中(男)41.7 中(女)81.8			
②う歯(むし歯)保有率	%	小35 中30	小46.0 中31.7	小44.2 中30.4			
③肥満傾向及び痩身傾向割合	%	肥満 7.0%以下 痩身 1.0%以下	肥満 12.7 痩身 2.3	肥満 15.8 痩身 1.2			
施策の進捗状況							
フッ化物洗口事業や歯科衛生士派遣事業の継続により、う歯保有率については、目標に届かなかったものの年々減少傾向にある。また、個々の健康課題を知り改善するため、栄養教諭及び学校栄養職員を活用した食育指導を実施したが、コロナ禍における活動量不足等もあり、肥満度については目標に届かなかった。							

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

施策3 教育施設の整備

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①子どもの夢を生かした校舎内外環境の工夫	学習指導要領に沿った授業展開をするために必要な教材や備品の整備を図った。					
②施設・設備の計画的な修繕・更新	長期修繕計画に基づき、老朽箇所や破損箇所の修繕工事を適宜施工し、計画的な整備を図った。 岩江小学校についてLED改修工事を実施し、学校施設の環境改善を図った。					
③学校図書館の充実	新刊図書の購入や町民図書館と連携し、ボランティアによるおはなし会から児童生徒の読書活動の推進、読書習慣化の推進を図った。					
④GIGAスクール構想によるICT環境整備と利活用	算数・数学の学習者用デジタル教科書の導入、特別教室等への電子黒板30台の設置等、環境整備を進めた。ICT支援員による教職員への支援や、教育用コンテンツを利用した授業ノウハウを蓄積し、教職員の情報活用能力向上による学習効果の高い授業実現を支援した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①1ヶ月あたりの読書冊数	冊	児童10 生徒 4	児童13.2 生徒 2.0	児童12.7 生徒 2.8		
②校舎トイレの洋式化率	%	100	85.9	95.0		
③校舎等照明施設のLED化率	%	100	12.5	12.5		
施策の進捗状況						
長期修繕計画に位置付けられていた修繕工事を実施することで、学校施設の環境改善を図った。重点事業である照明施設のLED化やトイレの洋式化についても次年度以降も年次計画を組み、計画的に進めている。						

外部評価
B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

施策4 児童・生徒の安全・安心な環境づくり

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①児童・生徒の防犯対策	前年度見直しした通学路交通安全プログラムにより、危険個所の情報を共有し、児童生徒の安心・安全の実現を図った。					
②地域・関係機関との連携	まちづくり協会など、通学路の危険個所の共有を図ることで児童生徒の安全な環境づくりを図った。					
③防災教育の推進	火災や地震対応の避難訓練の他、不審者対応の避難訓練も工夫して実施されていた。加えて、新型コロナ下にあっては、感染防止やそれに伴う人権侵害等に配慮した防災教育も実施している。					
④学校における放射線教育の推進	学級活動や総合的な学習の時間、学校行事等の時間を活用し、福島県環境創造センター『コミュタン』の訪問・見学を実施している。中学校においては、道徳の時間で風評被害に立ち向かう姿を学び、理科の『科学技術と人間』単元での放射線教育、学級活動での『安全な生活と自分』単元での放射線教育に取り組んでいる。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
学校運営協議会実施回数	回	28	26	27		
防災教室等の実施率 (SDGsの学習会も含む)	%	100	100	100		
施策の進捗状況						
前年度見直しした通学路交通安全プログラムにより、地域や関係機関へ危険個所の情報を共有し、連携を図ることで児童生徒の安全な環境づくりの推進を図った。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

基本施策 夢が育つ学校教育の推進

施策1 夢をささえる確かな学力の育成

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革	『授業研究を第一優先に』を念頭にして、学校教育アドバイザー事業を中心として、各小・中学校において、『子どもの学びに学ぶ』教師の資質能力の育成を目指した。授業での子どもの動きや変化を適切に見る目を育てる取組に町内小・中学校が同一歩調で取り組んだ。					
②児童・生徒一人一人の学びが保障される環境づくり	『働き方改革』を積極的に推進し、子どもと共にある時間の確保により学びの環境づくりに全小・中学校で取り組んだ。授業研究の負担を軽減し、頻度を上げ、全ての子どもたちの授業における動きや変化を適切に見極め、対応できる教師を目指した。					
③ICTを利活用した学びの充実	GIGAスクール構想を活用し、1人1台のタブレットを効果的に用いた、わかりやすい授業展開を実現した。ICT支援員の最大活用により、より授業で生かしやすいICT環境の充実を図った。					
④グローバル化する社会に適応するための英語教育の充実	外国語指導助手（ALT）の効果的な活用によって、児童生徒が外国語を通して身につけた技能を生かし、外国語のコミュニケーションによる見方・考え方を発揮して学びを深める学習を推進した。各小中学校の英語教育の現状を把握するため、英語教育アドバイザーを派遣し、児童生徒の主体的な学習の推進を図った。					
⑤SDGs理解のための教育活動の推進	教育大綱成果指標にSDGsを掲げ、持続可能な社会・三春町づくりの意識と態度を明確にした。中学校の総合的な学習の時間には、SDGsに関連し“食品ロス対策”や“エネルギー削減のための取り組み”などに関連した調べ学習を行い、地域社会の中でどのような取り組みが行われているか調査し、持続可能な社会について考察した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①全国学力テスト正答率全国平均を100とした場合の平均値		小105 中105	小97.2 中98.4	小94.5 中101		
②「主体的・対話的で深い学び」を実現するための町内小中学校における授業研究の実施回数	回	16	15	17		
施策の進捗状況						
学力向上に関しては、『三春町学校教育アドバイザー事業』本格実施3年目となり、子どもの学びを見る目の充実、学び合いの場の確保、発展的な課題設定の工夫を図り、授業研究の充実へむけて授業改革が進んでいる。それを下支えするICTの利活用の充実や働き方改革の推進についても、社会や学校全体がその流れに沿って動いている。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策2 夢を育む豊かな心の育成

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①道徳教育の充実	物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める活動を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度が身につくよう授業を行った。教科書や『ふくしま道徳資料集』などを効果的に活用し、考え議論する道徳を意識し、道徳的实践力の伸長を図った。					
②三春の伝統・文化の学びを通した郷土愛の育成	三春町のよさ・地域のよさを実感できるようにし、地域の教育力を活用した特色のある活動と本物の自然や事象と触れ合う体験活動を推進することにより、児童生徒の郷土愛を育み帰属意識や自尊感情の向上につなげた。					
③キャリア教育の充実	特別活動の学級活動をキャリア教育の要としつつ、総合的な学習の時間や学校行事、道徳科や各教科にわたる教育活動全般において、基礎的・汎用的能力を高めた。地域の人材や事業所の協力を得ながら、職業体験や職業講話を行い主体的に自己の進路を選択できる能力を高めた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①全国学習状況調査において、「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合	%	小60 中50	小79.0 中81.2	小76.0 中84.0		
施策の進捗状況						
子どもたち一人一人をより多く、確実に見る力の充実により、道徳の授業の充実も図られるものと考え、郷土愛の育成に関しては、地域との連携を密にして、それらの教育力を十分に取り入れた取り組みを意図的に設定していく必要がある。キャリア教育に関しては、地域の人材を生かしつつ、児童生徒が将来において社会の中で自己の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するための資質や能力を育むことができるよう取り組みを充実させていく。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策3 特別支援教育の推進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①インクルーシブ教育の推進	特別支援学級・通級指導教室担当の研修、介助員研修、子育て・保健福祉・幼稚園・保育所等との連携や切れ目のない支援のための特別支援教育関係担当者会、個別最適な就学のための教育支援委員会、障がい者相談支援事業所等との連携で町全体としてインクルーシブ教育システムの確立を目指した。					
②特性に応じたきめ細かな支援体制の構築	幼稚園・保育所担当・特別支援教育担当指導主事の配置、個別の教育支援計画等による切れ目のない支援、子育て支援課5歳児発達相談への指導主事の派遣、小学校間、小・中学校間での交流及び共同学習の推進等で特性等に応じた切れ目のないつながる継続的な支援体制の構築に努めた。					
③特別支援教育環境を充実する指導・研修体制の充実	令和2年度より『特別支援教育訪問相談会』を実施し、町内幼稚園・保育所6施設、小・中学校8校を公・私立の分けなく訪問し、気になる子の参観や対応、就学先の検討等についてともに考え、話し合う機会を設けた。今年度は60回の訪問相談を実施した。					
④顔の見える地域支援ネットワーク	たむら支援学校地域支援センター『ゆめここ』、療育施設『のびっこらんど三春』との連携・協力を努めるとともに、全校に特別支援学級を設置し、『共生社会』ネットワークの実現を目指した。行政3課の連携会議も企画し顔の見えるネットワークづくりを目指した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①学校等訪問相談会回数	回	30	57	60		
②個別の指導計画に基づき、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っている教師の割合	%	100	100	100		
③「特別支援学校のセンター的機能」を活用した学校の割合	%	50	16	25		
施策の進捗状況						
『共生社会』のためのインクルーシブ教育システム確立の方向性は見えているが、特別支援教育に対する理解の促進にさらに努めたい。指導法に視点が行き過ぎ、社会での自立した生き方を視野においての生き方支援の視点が弱い。また、特別支援教育に関心をもち、知識・技能の豊富な人材の確保も課題であり、地域の教育資源である特別支援学校や療育施設、行政3課の緊密なる連携並びに研修の充実により、地域全体での特別支援教育の充実を目指したい。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策4 教職員の資質の向上

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①教師の指導力・授業力の向上	『三春町学校教育アドバイザー事業』を教員の指導力・授業力向上の中心に据え、“授業研究を第一優先”にというテーマをもって各校授業改革に取り組んだ。特に、子どもの学びから学べる教師としての“目”を育てていこうというねらいをもって取り組んだ。					
②子どもの学びの事実から学ぶ授業研究の推進	麻布教育研究所の講師がアドバイザーとして各校を年間2回ずつ訪問し、授業改善にむけアドバイスをを行った。授業研究を「子どもの学びの事実」から学ぶことを中心に据え、より多くの児童生徒の学びの姿を見取るスキルを身につけることで教師の資質・能力を育て、授業改善へつなげた。					
③学習指導要領改訂をふまえた教育内容・方法の改善	『主体的、対話的で深い学び』をめざし、ペア、グループでの学びを推進し、課題設定の工夫を行った。道徳科の学びでは、主体的に道徳的価値について考え、学び合いを通し価値を深める『考え、議論する道徳』という新学習指導要領趣旨をふまえた教育を展開した。					
④教職員の働き方改革	月80時間を超えないよう超過勤務時間の管理等、各校管理職との連携の下、町教委からの提出文書や調査等の削減・効率化、校務の見直し、会議、行事等の厳選、部活動のあり方を見直しを図ることで、主体的に研修に取り組み、子どもと向き合う時間の確保のための働き方改革を推進した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①授業研究を通じて授業方法の検討・改善を確実にしている教師の割合	%	80	100	100		
②教職員としての資質や指導力の向上に進んで努めている教師の割合	%	80	100	100		
③ICTを活用して授業ができる教職員の割合	%	100	76.88	78.71		
④時間外勤務時間目標達成率	%	100	99.85	99.25		
施策の進捗状況						
『三春町学校教育アドバイザー事業』への取組は、全教育活動の充実により影響を及ぼしてくれらる。その充実により、教員の資質は確実に高まると共に、それに応じて教員の児童生徒理解のスキルが向上し、信頼関係はさらに確固としたものとなるものと考え。そのためには、教員の働き方改革を確実に推進すると共に、ICTの効果的な利活用により、教員の研修や児童生徒と共にある時間の確保に努めなければならない。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策5 一人一人の個性を生かす環境づくり

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①生徒指導体制の充実	『チーム学校』体制のもと、組織的・継続的な支援体制を構築し、児童生徒自身による自己実現能力の育成という生徒指導のねらいの実現をめざした。問題行動等は少ないものの、全国的傾向でもある不登校児童生徒の町全体の数の増加傾向に対し校内支援体制の強化とあこがれ教室での受入体制の整備に努めている。					
②不登校児童生徒への支援強化	SC・SSWなどの専門的知識をもつ人材を活用するとともに、生徒指導委員会・不登校対策委員会・ケース会議・講師を招へいた研修・関係諸機関との連携などにより、不登校（傾向）状況の解決を目指した。町に学びの支援センターあこがれ教室を立ち上げ学びの場の保障に努めると共に新規不登校児童生徒の抑制にも努めている。					
③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用	新たなSSWとSC2名体制により相談支援等に努めた。年度当初に小中学校全校をSSWとともに訪問し有効活用を確認すると共に、『SC・SSW相談依頼書』、『SC・SSWの有効活用について』という文書を発出し相談しやすい組織として対応できる仕組みづくりに取り組んだ。					
④教育相談体制の充実	三春中、岩江小・中にSCを配置し、児童生徒、教員、保護者が相談しやすい機能する教育相談体制の構築に努めるとともに、それ以外の学校からの相談経路の明確化のため、『SC・SSW相談依頼書』を作成し、町全体の教育相談体制の構築をめざした。相談件数も増加した。					
⑤いじめの未然防止・早期発見と早期対応	全国学力調査質問紙で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、中学校0%、小学校2.9%が「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した。いじめ「0」に向け、学校と教育委員会の連携協力体制を強化し早期対応に努めている。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①スクールカウンセラー相談件数 (月あたり平均)	件	60	50.7	53.5		
②スクール・ソーシャルワーカー 対応回数(年間)	回	550	470	483		
③いじめの認知件数のうち解消 できた件数の割合	%	100	97.8	96.8		
施策の進捗状況						
全国の状況と同様、町全体での不登校（傾向）児童生徒の数は増加している。SC・SSWの効果的な活用に向け、保護者も対象とした教育相談体制の確立や誰一人取り残さない『学びの場の保障』に向けた学びの支援センターあこがれ教室の整備を進めている。いじめの未然防止や早期対応については各小中学校に再確認し、さらに積極的ないじめの認知に取り組み、いじめに対してより関心を強くもって対応する体制を確実なものとしていく。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策6 つながる教育の推進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①幼稚園・保育所と小学校の連携推進	特別支援教育を中心に、幼・保・小の具体的連携に向け、アプローチプログラム・スタートカリキュラムという教育課程上の実践的連携を促進し、研修会においては、幼・保・小、小・中、中・高の連携の具体的展開例について確認し、関係諸機関において共有した。					
②小中連携・中高連携の具体的な取組の推進	学力向上面では学校教育アドバイザー事業において小・中学校が同一歩調で『子どもの学びに学ぶ』教師像の確立をめざし授業研究を行い、中・高連携においても田村高校が学校教育アドバイザーの下で授業改善に取り組むとともに英語科・音楽科において文化面の連携にあたった。					
③関係機関と連携した特色ある学校づくり	町内全校に設置した学校運営協議会を中心に地域に開かれた学校づくりを目指し、教育課程においても地域の人材・資源を活用した教育活動に取り組み、学校と地域の協力関係にとどまらず、共同経営という意識をもって学校・地域づくりに取り組んだ。					
④幼稚園教諭・保育士スキルアップセミナー	幼児教育アドバイザー訪問事業により、アドバイザーが各幼稚園・保育所を各2回ずつ訪問し、保育参観後に子どもと教諭・保育士の適切な関わり方や保育内容に関する懇談会を設定し、適切なアドバイスを受けることができた。今年度は、その内1回をお互いに他の施設を保育参観する機会を設定し参観後に共通の話題で協議することができた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
県立田村高等学校入学者のうち、三春町内出身者の割合	%	40	22	30		
町立幼児教育施設の幼稚園教諭、保育士対象研修回数	回	10	11	8		
施策の進捗状況						
幼稚園・保育所担当指導主事の配置により幼稚園・保育所と小学校の人的・教育課程上の連携は実現され、小・中学校の連携もこれまでの中学校区単位での学力向上・生徒指導面での連携により確保され、中・高の連携も、音楽や国際理解教育の推進により準備されている。また、特別支援教育においても、県の『切れ目のない支援事業』の積極的推進、指導主事による特別支援教育訪問相談会の活用により、幼稚園・保育所から18歳までの切れ目のない支援の方向性が明確になった。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 生涯学習グループ

基本施策 学び続け活躍できる社会の実現をめざす「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」

施策1 学びへの参加のきっかけづくりの推進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①町民のニーズを生かした講座の開催	・子育て講演会 講師 陸上選手・パラリンピックマラソン伴走者 中田崇志氏 2月12日(日)町民対象57人					
②高齢者学級、既存教室の充実	1 明徳大学 ・50期生、51期生に関しては毎月1回教養学習、移動学習等コロナ禍の中においても積極的に実施した。49期生については、7月入学であったことから、今年度6月まで同様に学習会を実施した。 2 地区高齢者学級(7地区) ・各学級毎に各種教養学習、健康講座、移動学習など毎月1回開催することができた。					
③まほらミュージックプロジェクトの開催	(1)「Quartet DONKA(カルテットドンカ)」弦楽四重奏コンサート ・三春小学校合奏部演奏指導5月26日(木)33人 ・小学校音楽鑑賞教室5月27日(金)三春町立小学校6年生約150人 ・弦楽四重奏コンサート5月27日(金)約200人 (2)「第1回・たむらいぶ」(田村高校現役・OBOGギター愛好会) 7月31日(日)53人 (3)「合唱セミナー2022」8月1日(月) 講師：相澤直人氏 三春中学校合唱部24人 岩江中学校合唱部25人 (4)「佐藤秀徳トリオwith工藤精・三春中学校吹奏楽部・田村高等学校吹奏楽部 ジョイントコンサート」9月24日(土)200人 (5)「まほらコーラスフェスティバル」10月29日(土)107人 (6)「真灯かなた・GO-GOジャズオーケストラ クリスマスコンサート」 12月17日(土)300人					
④生涯学習活動団体登録と活動の支援	生涯学習活動団体として50団体の登録を認定した。また、町広報・交流館広報等で団体の取り組みを紹介するなど活動の周知を行った。					
⑤学習成果発表の場の提供	「令和4年度三春町文化祭」を開催し、町内24団体に対し日頃の学習成果の発表の場を提供した。					
⑥ICTを活用した学習環境の整備	令和3年度末に導入した公共施設予約システムについて、令和4年度にシステムの利活用を促進、152の個人・団体にシステムの新規利用登録をしてもらい学習環境の利便性の向上を図った。					
⑦三春町社会教育委員の会議の開催	三春町教育委員会主催事業(生涯学習・体育イベント等)について会議を開催し社会教育委員より適宜指導と助言を得た。					
⑧三春町生涯学習を進める町民会議の開催	生涯学習に関する町民の意見を反映させることを目的に3月に会議を開催した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①一般教養講座	回	8	1	1		
施策の進捗状況						
まほらミュージックプロジェクトは小中学生に音楽の楽しさを感じ豊かな心を育むことに資することができた。高齢者学級は計画どおり実施することができた。特に「終活」に関する学習会は好評であった。施設予約システムを導入し、利便性の向上を図った。今後は利用者がさらに増えるよう環境整備に努めたい。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
B：成果が上がって概ね良好に行われている
C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策2 多様な団体との連携と協働の推進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①三春交流館運営協会と連携した芸術鑑賞教室	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田兄弟×レ・フレール スペシャルコラボコンサート6月26日（日）375人 ・わらび座ミュージカル「北斎マンガ」9月12日（日）339人 ・鬼太鼓座ワークショップ、11/27鬼太鼓座創立50周年記念公演 DRAMA 開天闢地－鬼太鼓座 巡礼の時－11月27日（日）370人 ・ニューイヤーコンサート2023 ビッグウイングジャズオーケストラ1月14日（土）374人 					
②三春町国際交流協会と連携した国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 1 青少年国際理解教育プログラム（中高生対象）参加者8名 ・毎月1回国際理解に関する講座を開催（6月～12月） ・ブリティッシュヒルズでの2泊3日の国内留学研修実施（8月15日～17日） 2 小学生イングリッシュプログラム・参加者9名 ・毎月1回英語の絵本を用い英語に親しむ講座等の実施（6月～12月） ・ブリティッシュヒルズでの日帰り体験学習実施（8月15日） 3 田村高等学校とライスレイク高校とのオンライン交流 ・5月～2月 6回実施 延べ52名参加 ・それぞれの文化や季節のイベントの紹介、意見交換等を実施 					
③三春ダム等と連携した自然環境学習	<ul style="list-style-type: none"> 1 さくら湖自然教室2022開催準備 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前の規模で開催準備：参加申込者101名 ・実施直前に県内におけるコロナ感染者急増に伴い中止 2 さくら湖自然環境フォーラム 令和5年3月10日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・会場・WEB方式での開催。「さくら湖流域からの最先端の生態学術研究の情報発信」をテーマに研究報告等を行った。 ・参加者120名（会場15名、WEB105名） 					
④高齢化、環境問題、家庭教育支援、人権問題、消費者問題等学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講演会 講師 陸上選手・パラリンピックマラソン伴走者 中田崇志氏 2月12日（日）町民対象57人 					
⑤三春町青少年問題協議会の開催	青少年健全育成に関わる町内団体の活動状況について情報共有を目的に3月に会議を開催した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①関係機関と協働した研修会の開催	回	3	1	1		
施策の進捗状況						
三春交流館運営協会事業においては4事業開催し全て完売となり、町民に質の高い芸術を提供することができた。国際交流事業では国内留学体験（ブリティッシュヒルズ）を実施し参加者から高評価を得た。また、姉妹都市看板を設置した町国際交流協会へ事務的支援を行った。自然環境学習は三春ダム等と連携し開催したが、コロナウイルス感染拡大防止のためさくら湖自然教室は中止することとなった。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策3 学習成果を地域の活動に生かす実践機会の促進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①生涯学習人材ガイドの利活用推進	登録者22人（団体含む）の中から一人の登録者に講座の講師を依頼し人材を活用した。					
②生涯学習支援者としての参加促進	生涯学習活動団体登録者一覧を保健福祉課に情報提供し、地域サロン活動への講師派遣などの一助とした。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①生涯学習人材ガイドの登録者数	人	30	21	22		
施策の進捗状況						
生涯学習人材ガイドの関しては登録者について問い合わせがあったものの依頼には至らなかった。募集に関しては町広報に掲載し周知、広報に努めた。町民のみならず、包括連携協定を結んでいる明治安田生命や無償で講師派遣をしてくれる団体を高齢者学級講師として活用した。						

外部評価
B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 社会体育グループ

基本施策 スポーツを通した「健幸」なひとづくり

施策1 社会体育事業の振興 各種スポーツ大会・教室の充実

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①スポーツ推進委員による社会体育事業推進	会議を年間3回開催して情報の共有を図り、また町民参加によるスポーツ大会等において、運営協力のほか講師としての指導にも従事し、委員の主体性と資質の向上を図った。					
②町民参加型のスポーツ大会・教室の開催	さくら湖マラソン大会、みずウオーク大会、町民ソフトボール・家庭バレーボール大会を開催し、多くの町内外住民との多世代交流を図った。					
③体力・健康づくりにつながるスポーツ大会・教室の開催	スポーツ推進委員やスポーツ団体を講師として、トレッキング、ニュースポーツ・レクリエーション、スキー教室を開催して、町民の健康づくりを支援した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①スポーツ大会・教室参加人数	人	3,700	167	2,310		
②スポーツ大会・教室開催、参加回数	回	15	7	12		
施策の進捗状況						
感染症の影響により町の主要スポーツ大会は、開催規模や運営方法等を見直しながら徐々にスポーツ活動等再開に向けて取り組んでおり、町民の健康づくりに資する事業を実施している。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 社会体育グループ

施策2 町民のスポーツ振興・拡充推進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①市町村対抗スポーツ大会参加と競技力向上	軟式野球、ソフトボールと駅伝の町選手団を編成し、大会に参加した。編成、練習から大会まで通して、選手団と連携しながら、競技選手の育成を図った。					
②三春町体育協会の支援と事業活性化	体育協会に町補助金・交付金を交付し活動を支援するとともに、協会事務局を担当して調整を図った。					
③三春町スポーツ少年団の支援と青少年健全育成環境の充実	スポーツ少年団に町補助金・交付金を交付し、活動を支援するとともに事務局を担当した。団員の親睦交流を目的に、ニュースポーツ大会を1回開催した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①三春町体育協会加入人数	人	1,250	1,017	981		
②子どもスポーツ教室・講習会開催回数	回	2	1	1		
施策の進捗状況						
感染症とともにスポーツ活動を広げていく中で、感染症対策の徹底を適宜周知しながら、町民のスポーツ活動を支援した。様々なイベントを再開し、当町のスポーツ振興発展を推進した。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策3 社会体育施設管理運営と利便性向上

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①社会体育施設管理運営と利用環境の充実	通年で体育施設の利用調整を円滑に行った。町営グラウンド内に防災避難施設管理棟が改築され、平常時は体育施設利用者に施設を開放することで調整を図った。					
②学校体育施設の開放事業	利用登録40団体、学校と管理員との連絡調整をしながら、適正に制度を運用した。感染症の影響により団体活動が縮小していたが、徐々に再開されてきている。					
③社会体育施設の長寿命化のための改修工事	町民体育館の屋内消火栓自家用発電設備設置工事及び音響設備を改修して、施設の長寿命化を図った。また、施設の老朽箇所の補修修繕を適宜施工し、適正に管理運営した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①社会体育施設の利用人数	人	70,000	37,747	43,978		
②三春町民体育館のバリアフリー化対策	回	2	0	1		
施策の進捗状況						
感染症の影響により体育施設の利用が減少していたが、徐々にスポーツ活動が再開されてきている。引き続き、施設設備の安全性を確保しながら、利用者目線での施設管理運営を行っていききたい。バリアフリー化は町民体育館玄関入口にスロープを設置した。						

外部評価
B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 歴史民俗資料館

基本施策 文化遺産の伝承 歴史と文化のまちづくり

施策1 文化財保護の推進・支援

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①文化財調査の推進	厳島神社（御祭）の改修工事に伴い、天井画を調査・整理し、竣工式で地区の方々に解説した。さくらの会やまちづくり協会と協力しながら、町内の桜の古木・大木のアンケート調査を取りまとめ、樹木医による勉強会を開催した。					
②文化財保護の推進・支援	滝桜と大桜を地元保存会に管理等を委託するとともに、滝桜は天然記念物指定100年記念事業を実施した。大桜は見学路を新設して3ヶ年の保全工事を完了し、駐車場も整備した。					
③三春町文化財保存活用地域計画の策定	先進自治体を視察し、策定方法を検討し、次年度から協議会を立ち上げ、策定に着手することとした。					
④文化財保護審議会による提言の活用	一昨年の文化財フォーラムで検討した三春城の活用について、現地の案内標示を検討し、次年度に標柱を整備することとした。民俗芸能についてのフォーラムを開催した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①文化財の年間公開数	件	15	6	6		
施策の進捗状況						
資料館等での文化財の公開数は伸びていないが、滝桜の指定100年を記念した企画展を開催したほか、各所で滝桜に関する解説を実施し、記念植樹を行った。このほかの桜について調査を開始するとともに、一般の文化財を含めた埋蔵文化財の地図も刊行し、現地での文化財の公開・活用への準備を進めた。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 歴史民俗資料館

施策2 文化財の保存・公開施設の管理運営

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①保存・公開施設の適正な管理運営（歴史民俗資料館・自由民権記念館、郷土人形館）	歴史民俗資料館外構開口部への柵設置及び展示室天井の照明機器のLED化工事を行い、燻蒸等の業務も適切に実施した。					
②三春町文化伝承館	紫雲閣の修繕工事を完了し、次年度から入館料を徴収しながら管理する準備を進めた。					
③歴史民俗資料館運営協議会によるフィードバック	6月に4年度事業計画を諮り、12月に4年度事業経過報告と5年度事業計画を諮って5年度予算編成の基礎とし、2月に4年度の成果を報告した。					
④歴史民俗資料館友の会支援	感染症対策を行いながら、月例の学習会やグループ活動を継続的に実施し、3年ぶりに町外研修も実施したほか、町の文化祭にも出展した。					
	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①友の会会員数	人	150	125	107		
施策の進捗状況						
学習会やグループ活動を地道に継続し、土器作りのようなイベントには県内外からの参加者が多いので、LINEやホームページを活用して、町外からも新規会員を増やしていきたい。また、資料館展示室の天井照明のLED化が完了し、残る展示ケースや事務室等のLED化を進めたい。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 歴史民俗資料館

施策3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①常設展・企画展の充実	「天然記念物指定100年記念 三春滝ザクラ」「三春のおけいこ」を開催し、年度末から「河野広中没後100年記念 河野広中の生涯」を開催するとともに、三春城VRの体験コーナーを新設した。					
②各種講座・出版物の充実	夏休みに体験講座を開催するとともに、秋まつりで三春城のVRをPRするコーナーや、現地での体験を支援した。また、戦争体験記録集と歴民ブックレット③を新たに刊行した。					
③ホームページ・広報誌等での広報活動	町広報の歴民コラムとして、没後100年を迎える河野広中の生涯を連載するとともに、ホームページの文化財情報等を更新して充実を図った。					
④学校・各種団体との連携	感染症対策を行ったうえで、町内小中学校からの見学を受け入れるとともに、講師を派遣しての講座や、小中学校教員の初任者研修に対応した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①資料館の年間入館者数	人	9,000	4,505	5,524		
施策の進捗状況						
感染症対策を講じながら、個人客を中心に少しずつ入館者が戻ってきている。三春城のVR体験コーナーを新設し、河野広中の特別展を開始することで、次年度に向けて入館者数の増加を図った。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 町民図書館

基本施策 本に親しみ、学びがあふれる「みんなの図書館」

施策1 図書館活用推進

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①利用者に親しまれる環境づくり	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、平日の開館時間を1時間延長し、利用者の居場所づくりを図った。 ・延長時間利用者：709人／183日（土・日除く）					
②有用図書資料の収集・維持管理	利用者の役に立つ図書資料を選書し、リクエストも取り入れながら新着本を毎月の図書整理日に配置した。また、古い図書資料の除籍・廃棄を年3回実施した。桜ホールの特設コーナーに、除籍本・寄贈本を配架した。 ・破損資料修繕：192冊					
③広報活動やレファレンスサービスの充実	毎月の広報みはるへの掲載や行事記事の新聞掲載、公式ラインでの行事等の周知を行った。また、レファレンスサービスはメールによる受付・回答も実施した。					
④図書館協議会開催	年3回開催し、図書館運営に関する情報共有と意見交換を行った。（6月・11月・2月） ※改選により、委員5名のうち3名が新委員となった。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①図書館入館者数	人	35,000	26,727	24,791		
施策の進捗状況						
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、利用者に親しまれる環境づくりに努めた。平日の開館時間延長が認知されてきていることにより、夜間の利用者が微増している。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策2 利用者サイドに立った図書館運営

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①予約・リクエスト・相互貸借の充実	予約・リクエストサービスが利用者に認識され、増加傾向にある。地区交流館図書室での予約は実績なし。					
②インターネット予約・蔵書検索サービス利用促進	パソコンやスマートフォンから図書資料の蔵書検索を行うことにより、新着登録本の利用につながっている。インターネット予約も活用され、昨年度より増加した。 ・インターネット予約件数：135件					
③県立図書館情報ネットワーク活用	県立図書館の相互貸借システムを活用し、県内図書館との連携を図り、利用者の求める図書資料の貸借を行った。 ・貸出：32冊 借受：42冊					
④国立国会図書館総合目録ネットワーク活用	国立国会図書館の相互貸借システムを活用し、国内の図書館との連携を図り、利用者の求める図書資料の貸借を行った。 ・貸出：3冊 借受：8冊					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①レファレンス調査相談件数	件	1,150	1,089	1,177		
施策の進捗状況						
利用者の求めに応じ、日常生活に役に立つ図書資料の収集に努め、レファレンスについては図書館カウンターやメールで受付回答するなど適切に対応した。広域圏利用者やインターネット予約利用者も増加傾向にあり、新規利用も増えている。						

外部評価
A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策3 歴史・文化を継承した社会づくり

施策の展開		令和4年度取組状況・実績				
①郷土資料・行政資料・参考図書の充実		桜ホールの郷土資料コーナーに行政資料などを随時追加した。また、滝桜国天然記念物指定100周年事業に関連して、桜に関する新聞記事索引を作成したり、所蔵している桜関連資料の展示を実施するなど、資料PRに努めた。				
②読書習慣・読書意欲向上のための各種行事の開催		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、出前おはなし会やブックスタート事業、図書館フェスティバル、朗読講習会、読み聞かせ講習会、新春おはなし会を計画どおり実施した。				
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①図書館ボランティアが参画している学校・施設	箇所	16	9	10		
施策の進捗状況						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出前おはなし会が中止になることもあったが、桜ホールの出張コーナーを活用するなど、読書活動を推進できた。						

外部評価
A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策4 各地域へのサービス充実

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①学校・施設・ボランティアへの団体貸出し	各教育機関への巡回文庫貸出（年3回）。その他、ボランティアへの団体貸し出しを行い、各施設でのおはなし会に利活用した。 ・巡回文庫貸出：7,460冊					
②地区交流館図書室の資料管理	4地区交流館でテーマ展示を実施（沢石・御木沢・中妻・中郷）。また、定期的に地区交流館図書室を巡回し、図書資料整備を行った。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①団体貸出冊数	冊	10,220	10,630	10,502		
施策の進捗状況						
各年齢に合った図書資料の貸し出しを行い、ボランティア会員の協力により読み聞かせ活動を実施した。各地区交流館では、高齢者学級の学習内容や季節に併せたテーマ展示を行った。						

外部評価

A

A：十分成果が上がって良好に行われている
B：成果が上がって概ね良好に行われている
C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策5 学校との連携・学習支援

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①職業体験・図書館見学受入れ推進	町内各小学校や幼稚園の図書館見学受け入れ。(7件) 岩江中学生の職業体験受け入れや、他図書館関係者の視察研修を受け入れた。					
②教育機関等との連携による学習支援	小学校の授業カリキュラムに合わせたおはなし会の実施。					
③子ども読書活動推進計画(第3次)推進	館内では、乳幼児と保護者向けのおはなし会や季節の特別おはなし会などを実施した。また、教育施設や障害者施設などと連携し、図書館ボランティアとの協働で、出前おはなし会(読み聞かせ)を実施した。 ・出前おはなし会実施件数:75回					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①読書活動ボランティアのべ人数	人	400	94	210		
施策の進捗状況						
朗読講習会・読み聞かせ講習会受講者の中から図書館ボランティア登録があり、ボランティア育成につながっている。図書館ボランティア会員や田村高生による読み聞かせを推進した。						

外部評価

A

- A: 十分成果が上がって良好に行われている
 B: 成果が上がって概ね良好に行われている
 C: 成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D: 成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和4年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 児童生活センター

基本施策 保護者・地域・学校が一体となって推進する子供の健全育成

施策1 放課後子ども総合プラン推進事業

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①三春町放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会	第1回会議 6/23開催、第2回会議 12/9開催、第3回会議 3/16に開催。三春町の総合的な放課後対策の在り方を検討するため、地域住民や学校関係者、PTA関係者などを委員とする委員会を実施した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①運営委員会開催	年/回	3	3	3		
②運営委員会による児童クラブ及びまほらっこ教室の視察回数	年/回	1	0	0		
施策の進捗状況						
運営委員会では、三春町が実施している放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業について意見を伺い、より良い事業運営を目指した協力体制の構築が図られ、委員の方から意見・質問等をいただいた。児童クラブやまほらっこ教室の現状をより深く理解していただくために、運営委員会の委員による現地視察についてはコロナウイルス感染防止のため実施することができなかった。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策2 放課後児童健全育成事業（児童クラブ事業）

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ運営	児童が放課後を安全・安心に過ごせる生活の場としての適切な環境を整え、子育て支援・就労支援を行うことで保護者も安心して子育てができるよう児童クラブの運営に努めた。小学校と情報共有しながら児童の対応等について連携を図ることができた。					
②各クラブ保護者会による活動支援	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、親子行事は中止となったが、来年度へ向けて前向きに保護者会にて検討中。					
③異年齢集団活動、地域住民との連携等による交流事業	図書館ボランティアによるおはなし会を毎月実施。三春町敬老園の入場者へ手作りのプレゼントを制作した。感染拡大防止のため慰問・交流は行わず、プレゼントを贈るのみとした。異年齢集団活動として、ダンス講師によるヒップホップ教室に参加。グループごとにダンスバトルを楽しんだ。					
④土曜日を中心とした地域に拓く事業	土曜日は毎月3つの児童クラブのいずれかの児童クラブを開所し、地域に拓かれた活動と特色を生かし、活動行事（体育館で遊ぼう、料理教室、理科クラブ、ボランティア活動等）実施することができた。コロナ感染拡大防止のため5月の料理クラブは中止となったが、それぞれ工夫しながら楽しく過ごせるよう努めた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①放課後児童支援員の人数	人	15	15	18		
②地域に拓く事業（理科クラブ、おりがみ教室、料理教室等）の実施回数	年/回	25以上	21	24		
施策の進捗状況						
令和4年度は新たに6名が放課後児童支援員の資格取得をし、目標値に達しているが、クラブ員が増加傾向にあることから、これからも資格取得者増員に向け積極的に研修受講を促していく。地域に拓く事業はコロナウイルスの影響により中止になった事業もあり、実施回数は達成できなかった。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策3 放課後子ども教室推進事業（まほらっこ教室）

施策の展開	令和4年度取組状況・実績					
①まほらっこ教室運営（三春・岩江・御木沢・中妻・中郷・沢石）	町内6小学校区においてまほらっこ教室を実施し放課後を安全・安心に過ごし、地域住民の協力を得ながら多様な体験活動を行うことができた。定期的に学校との情報交換の機会を設け、緊密な連携を図りながら児童一人一人の状況の把握に努めた。					
②コーディネーター・ボランティアによる活動支援	コーディネーター・ボランティアとして、たくさんの地域の方々に事業へ参加いただき、充実した学習支援や体験活動を行った。ボランティア一人一人の特技を生かし、活動を通じて児童の成長を支えながら安全に見守ることができた。					
③放課後・長期休業日の居場所づくり	全ての児童を対象に、放課後から午後4時頃まで通常教室を実施。児童クラブのない中妻・中郷・沢石では午後6時まで延長教室を、長期休業日は午前8時30分から午後6時まで長期休業中教室を実施し、児童の安全・安心な居場所づくりの実現に努めた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①まほらっこ教室ボランティアの人数	人	44	37	40		
②避難訓練の実施回数（各教室）	回	1	2	2		
施策の進捗状況						
令和4年度の登録児童数は233名であり、6小学校区において安全で安心な放課後の居場所としてまほらっこ教室を実施することができた。また、児童クラブのない地区では、平日の放課後から午後6時までと長期休業中の午後8時30分から午後6時までまほらっこ教室を実施した。令和4年度地域のボランティアの登録人数は40名であり、目標値には達していない。今後も新規人材確保に努めると共に、児童の対応等について研修参加を促し、人材育成をしていく必要がある。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

Ⅱ 事務報告書

教育委員会 教育課

教育総務グループ

令和4年度重点施策の実施状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり

1 確かな学力・生きる力の育成・環境の構築

- タブレット端末やデジタル教科書の活用を促進するため、特別支援教室や特別教室へ電子黒板を設置した。

2 安全安心な教育環境の構築

(1) 学校施設の整備

- 御木沢小学校の校舎を増改築し、不足していた教室等を整備することにより教育環境の改善に努めた。
- 岩江小学校の校舎及び体育館の照明をLED照明へ更新し、教育環境の改善に努めた。
- 各小学校（岩江小学校を除く）の和式トイレを洋式トイレへと更新し、環境の改善に努めた。

(2) 通学路環境対策事業

- 田村市立要田小学校の閉校に伴い、要田地区の児童の通学対策としてスクールバスを購入した。

I 総 務

1 教育委員会構成

- 令和4年4月1日～9月30日 教育長 添田直彦、教育長職務代理者 太田文枝、委員 宗像俊樹、委員 宮田美穂、委員 菊地和裕
- 令和4年10月1日以降 教育長 添田直彦、教育長職務代理者 太田文枝、委員 宗像俊樹、委員 菊地和裕、委員 草野エリ

2 教育委員会招集回数及び提出案件

- | | | | |
|----------|-----|-----|------------------------|
| (1) 招集回数 | 定例会 | 10回 | 4・6・7・8・9・10・11・1・2・3月 |
| | 臨時会 | 4回 | 5・8・10・3月 |

(2) 提出案件 53件

- ①教育委員会の所管する学校、その他の教育施設の管理・運営に関すること。（規則の制定・改廃等）
- ②教育財産の管理に関すること。（予算を含む）
- ③教育委員会及び教職員の人事に関すること。（各種委員の委嘱を含む）
- ④学齢児童生徒の就学に関すること。（要保護及び準要保護児童生徒の認定）
- ⑤その他、教育施策全般に関すること。

3 小・中学校児童生徒及び教職員数（令和4年5月1日現在）

（1）小学校

（単位：人、学級）

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
三春小	児童数	43	51	43	45	52	45	(17)	279
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
岩江小	児童数	45	53	40	49	48	37	(17)	272
	学級数	2	2	2	2	2	1	3	14
御木沢小	児童数	11	13	14	22	7	15	(6)	82
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
中妻小	児童数	9	7	8	9	7	8	(4)	48
	学級数	1	1	1		1		2	6
中郷小	児童数	9	3	8	8	12	11	(0)	51
	学級数	1	1	1		1	1	0	5
沢石小	児童数	9	9	5	7	10	6	(9)	46
	学級数	1	1	1		1		2	6
合 計	児童数	126	136	118	140	136	122	(53)	778
	学級数	8	8	8	5	8	5	12	54

※（ ）は内数

（2）中学校

（単位：人、学級）

学校名		1年	2年	3年	特別支援学級	計
三春中	生徒数	93	98	95	(20)	286
	学級数	3	3	3	3	12
岩江中	生徒数	52	47	24	(7)	123
	学級数	2	2	1	1	6
合 計	生徒数	145	145	119	(27)	409
	学級数	5	5	4	4	18

※（ ）は内数

（3）教職員数

（単位：人）

学校名	教員	養護	事務	栄養	計	学校長名	町費支弁職員	備 考
小 学 校	三 春	22	1	1	-	24	猪 狩 仁	5.0 (内部作業員1、介助員4)
	岩 江	20	2	1	-	23	羽 染 聡	6.0 (内部作業員1、介助員5)
	御木沢	11	1	1	-	13	白 石 修 子	2.5 (内部作業員0.5、介助員2)
	中 妻	10	1	1	-	12	佐 藤 和 則	3.5 (内部作業員0.5、介助員2、非常勤講師1)
	中 郷	10	1	1	1	13	今井不二子	1.5 (内部作業員0.5、介助員1)
	沢 石	10	1	1	1	13	久 保 知 之	5.5 (内部作業員0.5、介助員4、非常勤講師1)

	計	83	7	6	2	98	-	24.0	
中 学 校	三 春	23	1	1	1	26	渡 辺 和 也	7.0	(内部作業員1、介助員5、司書1)
	岩 江	13	1	1	-	15	木 幡 健	3.0	(内部作業員1、介助員2)
	計	36	2	2	1	41	-	10.0	
	合計	119	9	8	3	139	-	34.0	

このほか、英語教育助手2名(町)、スクールソーシャルワーカー1名(県委託)、スクールカウンセラー2名(県)、スクールサポートスタッフ8名(県)、特別非常勤講師(県)を配置。

4 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)推進事業

町内8校の小・中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、7つの学校運営協議会(岩江小中学校は合同で開催)に保護者や地域住民が参加し、学校運営に参画した。
各校それぞれ年間3～5回の会議を開催し、積極的な話し合いが行われた。

5 三春町総合教育会議の開催

令和5年3月14日、三春交流館「まほら」において、三春町総合教育会議を開催し、三春町第1期教育大綱の進捗状況及び町立小中学校におけるいじめ・不登校について、町長、教育長及び教育委員で協議した。

6 新型コロナウイルス感染症に伴う学級閉鎖状況

学校名	学級閉鎖等の状況
三春小学校	9月21日～22日(4年2組)、12月15日～16日(のびのび1組)
岩江小学校	11月11日～15日(6年)、12月21日～22日(2年2組)
御木沢小学校	12月12日～14日(6年)、12月23日(2年)
中妻小学校	10月31日～11月6日(1年・2年・3年・さくら学級)
中郷小学校	11月15日～16日(6年)
沢石小学校	11月30日～12月2日
岩江中学校	10月24日～10月26日(1年2組)、10月25日～28日(3年)

II 学 校 管 理

1 GIGA スクール構想

(1) 電子黒板購入

- ・概 要 GIGA スクール構想により導入した iPad やデジタル教科書の更なる活用のため特別支援教室や特別教室へ設置。
- ・購入台数 小学校分22台 中学校分8台 計30台
- ・契約額 19,203,360円(うち消費税1,745,760円)

(2) 小中学校学習用タブレット端末保守業務委託

- ・概 要 タブレット端末管理システム(MDM)ソフトのシステム保守
学習支援ソフト(MetamojiClassroom)年次更新
タブレット端末本体の年次更新
タブレット端末本体の保守業務
- ・契約額 2,679,600円(うち消費税243,600円)

(3) 小中学校 ICT 支援員業務委託

- ・概 要 授業支援、研修支援、校務支援、環境整備支援
- ・契約額 3,168,000円(うち消費税288,000円)

2 学校の教育環境整備

(1) 学校施設の補修・修繕整備

施設及び設備の破損・故障等については迅速に対応し、下記のとおり適時修繕を行った。

○小学校

学校名	修繕内容	金額 (円)
三春	階段室照明修繕	283,800 円
	シューズボックス修繕	198,000 円
	大判プリンタ修繕	161,040 円
	軽微な修繕 (外灯設備修繕 外 12 件)	339,020 円
岩江	職員室電気温水器修繕	105,490 円
	軽微な修繕 (ミシン修理 外 4 件)	195,360 円
御木沢	2・3 年生教室教室照明修繕	112,200 円
	体育館照明修繕	462,000 円
	体育館自動ドア修繕	473,000 円
	軽微な修繕 (ガラス交換 外 13 件)	654,280 円
中妻	体育館照明修繕	616,000 円
	第 1 学習室床修繕	161,700 円
	トイレ建具修繕	231,000 円
	軽微な修繕 (配膳室天井修繕 外 8 件)	384,560 円
中郷	図工室空調機修繕	165,000 円
	中郷スクールバス修繕	469,964 円
	軽微な修繕 (ガラス交換 外 6 件)	135,432 円
沢石	自動火災報知設備修繕	189,750 円
	体育館カーテン金物修繕	371,800 円
	軽微な修繕 (手洗い漏水修繕 外 7 件)	222,145 円
小学校合計		5,931,541 円

○中学校

学校名	修繕内容	金額 (円)
三春	エアコン修繕	737,000 円
	温風暖房機修繕	236,500 円
	防火シャッター連動中継器バッテリー修繕	237,600 円
	2 階廊下ドア修繕	290,400 円
	武道場畳取替	3,105,300 円
	ガス警報器交換	140,250 円
	軽微な修繕 (ガラス交換 外 7 件)	317,680 円
岩江	プール更衣室水抜きバルブ修繕	105,600 円
	校務室照明修繕	187,000 円
	コンピュータ室照明修繕	492,800 円
	浄化槽放流ポンプ修繕	167,640 円
	体育館排煙窓修繕	495,000 円
	軽微な修繕 (ガス警報器交換 外 4 件)	232,044 円
中学校合計		6,744,814 円

(2) 学校施設保守管理の状況

各小中学校の施設及び設備に関する保守管理業務委託を実施し、適正な管理に努めた。

令和 4 年度の施設及び設備の保守管理業務委託料は、小学校で 5,737,539 円、中学校 8,085,764 円の合計 13,823,303 円であった。

(3) 学校施設・設備工事

○小学校

・小学校管理費【現年】10.2.1.1.14

学校名	工事内容	事業区分	金額(円)	備考
三春	体育館ステージ天井修繕	耐震化	7,645,000 円	
三春	体育館放送設備更新工事	経年劣化	3,619,000 円	
岩江	学習センターエアコン設置工事	環境改善	3,410,000 円	
岩江	自動火災報知設備受信機更新工事	経年劣化	3,597,000 円	
御木沢	増改築工事	環境改善	93,720,000 円	※
御木沢	ベランダ防水等修繕工事	経年劣化	2,860,000 円	
御木沢	放送設備更新工事	経年劣化	1,518,000 円	
御木沢	体育館カーテン等設置工事	環境改善	531,300 円	
中郷	電話交換設備更新工事	経年劣化	1,430,000 円	
沢石	防草シート設置工事	環境改善	1,289,200 円	
沢石	敷地内通路舗装補修工事	経年劣化	1,278,200 円	
小学校合計			120,897,700 円	

※歳入：教育費国庫負担金 14.1.3

公立学校施設整備費国庫負担金事業（御木沢小学校増改築工事）

歳入額 18,912,000 円

・新型コロナウイルス感染症対応小学校施設整備事業費【現年】10.2.1.5.14

学校名	工事内容	事業区分	金額（円）	備考
三春	トイレ洋式化工事	環境改善	3,927,000 円	
御木沢			3,839,000 円	
中妻			1,452,000 円	
中郷			1,034,000 円	
沢石			1,507,000 円	
小学校合計			11,759,000 円	

・小学校管理費【繰越明許】10.2.1.1.14

学校名	工事内容	事業区分	金額(円)	備考
岩江	校舎及び体育館 LED 改修工事	環境改善	58,036,000 円	※
小学校合計			58,036,000 円	

※歳入：教育費国庫補助金 14.2.7

学校施設環境改善交付金事業（岩江小学校校舎及び体育館 LED 改修工事）

歳入額 14,646,000 円

○中学校

・中学校管理費【現年】10.3.1.1.14

学校名	工事内容	事業区分	金額(円)	備考
三春	教室床修繕工事	経年劣化	3,212,000 円	
三春	避難広場整地工事	環境改善	1,278,200 円	
三春	避難広場支柱撤去及びサッカーゴール移設工事	環境改善	775,500 円	
岩江	社会科教室エアコン更新工事	経年劣化	3,370,000 円	
岩江	電話交換設備更新工事	経年劣化	2,310,000 円	
岩江	昇降口屋外照明設置工事	環境改善	616,000 円	
岩江	特別支援教室間仕切り壁設置工事	環境改善	1,793,000 円	
中学校合計			13,354,700 円	

(4) 備品購入

各小中学校の施設備品の更新及び新規導入を実施した。購入金額は小学校8,676,005円、中学校3,761,340円の合計12,437,345円である。

(5) 児童の通学対策

中郷小学校の児童生徒の通学のため、スクールバスを運行した。空き時間には、校外学習の送迎等で当該バスを活用した。また、要田小学校北成田地区の児童の通学のためにタクシーを配車した。

田村市立要田小学校の閉校に伴い、要田地区の児童の学区を三春小学校としたことから、送迎に使用するスクールバスを購入した。

・購入台数 マイクロバス 2台

・契約額 17,188,600円(うち消費税1,562,600円)

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象

歳入額:17,000,000円【歳入科目:14.2.1(総務費国庫補助金)】

3 児童生徒の健康管理

(1) 健康診断

学校保健安全法に基づき、町内小中学校の児童生徒に内科健診、歯科健診、眼科健診、尿検査、心電図検査を実施した。

(2) フッ化物洗口事業

三春町を含む田村地方は、震災以降の生活環境の変化を含め、全国的にみても子どものむし歯有病率が高く、予防が喫緊の課題であるため、平成28年度より小学校、平成31年度より中学校にてフッ化物洗口を開始し、むし歯予防を進めてきた。

今年度も子どものむし歯有病状況の低減を図ることを目的とし、保護者から同意のあった児童生徒にフッ化物洗口を実施した。

・対象者 小学校1年生～中学校3年生

・実施頻度 週1回

・実施率 対象人数1,187人 実施人数1,173人 実施率98.8%

・むし歯有病率 令和4年度 小学校平均:36.3% 中学校平均:30.4%

(参考) 平成28年度 小学校平均:60.8% 中学校平均:47.5%

4 教職員の健康管理

(1) 健康診断

学校保健安全法に基づき、教職員個人の健康保持のため、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。

(2) メンタルヘルス事業

教職員のストレスの程度を把握し自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場の改善につなげて働きやすい職場づくりを勧めることによって、メンタルヘルス不調になることを未然に防ぐことを目的としたストレスチェックを、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。

5 要田地区小学生の教育事務委託

「田村市と三春町の園児及び小学校学齢児童の教育事務の委託に関する規約」に基づき、田村市へ委託した。

なお、田村市立要田小学校は令和5年3月31日をもって閉校したため、同日付けで事務委託を終了した。

6 学校保健特別対策事業（令和3年度から令和4年度への繰越分）

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にするため、文部科学省が実施する学校保健特別対策事業費補助金を利用し、消毒液等の保健衛生用消耗品や密閉・密集・密接を回避するための備品等を購入した。

・総事業費 7,813,540円（内国庫補助額 3,825,000円）

小中学校別内訳は次表のとおりである。

○小学校

	品名	金額（円）
需用費	アルコール消毒薬 外	1,489,025
備品購入費	加湿空気清浄機 外	4,018,457
合計		5,507,482

○中学校

	品名	金額（円）
需用費	アルコール消毒薬 外	728,461
備品購入費	非接触サーマルカメラ 外	1,577,597
合計		2,306,058

Ⅲ 教育振興

1 備品購入

各小中学校の授業等で使用する教材備品の更新及び新規導入を実施し、購入金額は小学校1,431,430円、中学校330,990円の合計1,762,420円であった。この他、学校図書館の図書購入金額は、小学校1,092,784円、中学校680,743円であった。

2 特色ある学校づくり支援事業

各校が特色ある学校づくりを推進するための事業の企画、立案及び事業の実施に対して、円滑かつ着実な事業展開を促進するための交付金制度を平成25年度より設けている。

学校名	事業内容等	金 額
三春小学校	「主体的・協働的に学ぶ子ども」の実現に向けた授業改善。特設部活動の推進。地域と共に歩む学校づくりの推進。	300,000 円
岩江小学校	本物の音楽を体験する音楽クラブの活動の充実。「ハイパーQU 調査」の分析結果を活用した望ましい集団作りを生かした生活指導。	300,000 円
御木沢小学校	焼き物体験や伝統工芸品作りなどを通して、地域のよさの再発見。ふれあい発表会や発表集会等の表現活動の充実。	300,000 円
中妻小学校	ダンス教室や三春張子体験教室等を通じた体験的学習等や、会津地方の歴史や文化を学ぶ宿泊学習での活動の充実。	270,000 円
中郷小学校	地域体験活動を通じたキャリア発達を高める教育活動の推進。まちづくり協会を中心とした地域との交流活動の実施。	300,000 円
沢石小学校	語りの講演により読書への興味、意欲を高める活動の実施。三春の伝統工芸の絵付け体験を通じて、郷土愛を醸成。	300,000 円

三春中学校	職業講話や平和学習に関する授業へ講師を招へいし、キャリア教育を実施。音楽イベント参加による豊かな感性を醸成。	300,000 円
岩江中学校	主体的な学びを促進するための学習環境の整備、体験活動の支援及び発表活動のための環境の整備。職業シンポジウムの開催。	300,000 円

3 就学援助

(1) 要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費

経済的な理由により認定した要保護・準要保護児童生徒の数は、小学校141名（全児童総数の18.1%）、中学校91名（全生徒総数の22.2%）、就学予定者19名の計251名であった。このほか、原発事故等による被災者への支援は、小学校16名、中学校6名、就学予定者3名の計25名であった。就学援助費の額は、小学校11,614,658円、中学校11,460,754円、就学予定者1,027,140円の合計24,102,552円であった。

なお、被災者への支援は福島県被災児童生徒等就学支援事業補助金（10/10）2,142,227円を受けた。

○経済的理由

（単位：円）

区分	人数	学用品費等	給食費	入学準備金	計
小学校	141	2,739,348	7,435,310	1,440,000	11,614,658
中学校	91	6,365,858	5,094,896	-	11,460,754
就学予定者	19	-	-	1,027,140	1,027,140
計	251	9,105,206	12,530,206	2,467,140	24,102,552

○被災

（単位：円）

区分	人数	学用品費等	給食費	入学準備金	計
小学校	16	293,455	840,130	60,000	1,193,585
中学校	6	358,122	362,340	-	720,462
就学予定者	3	-	-	228,180	228,180
計	25	651,577	1,202,470	288,180	2,142,227

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減のため、就学奨励費を支給した人数は、小学校28名、中学校12名の計40名、奨励費の合計は1,504,458円であった。なお、特別支援教育就学奨励費国庫補助金660,000円を受けた。

（単位：円）

	人数	学用品費等	給食費	通学費	計
小学校	28	171,213	467,045	183,770	822,028
中学校	12	341,045	341,385	0	682,430
計	40	512,258	808,430	183,770	1,504,458

Ⅳ 学 校 給 食

1 学校給食の年間実施日数

(1) 小学校

(単位：日)

学校名	三春小	岩江小	御木沢小	中妻小	中郷小	沢石小
実施回数	191	192	194	185	195	194

(2) 中学校

(単位：日)

学校名	三春中	岩江中
実施回数	189	184

2 給食調理の概要

(1) 調理及び配送業務

施設名	調理・配送業者	契約期間	令和3年度 委託料(円)	3ヵ年総額 委託料(円)
三春小学校	福島県郡山市中町 5-1 株式会社 メフォス	令和4年度から 令和6年度まで	11,454,300	34,362,900
三春中学校		令和3年度から 令和5年度まで	10,450,000	31,350,000
さくら共同調理場 沢石共同調理場		令和4年度から 令和6年度まで	16,731,000	50,193,000
岩江幼稚園 岩江小学校 岩江中学校		令和2年度から 令和4年度まで	13,200,000	39,600,000

(2) 年間調理食数

(単位：食)

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
三春小学校	4,725	5,621	6,622	3,980	1,564	5,197
三春中学校	3,547	5,762	6,088	3,845	1,597	4,834
さくら共同調理場	1,940	2,828	3,248	1,924	673	2,871
沢石共同調理場	2,840	3,591	4,200	2,565	928	3,502
岩江幼稚園 岩江小学校	5,227	7,025	8,244	5,074	1,717	6,755
岩江中学校	2,168	2,470	2,599	1,866	724	2,034
計	20,447	27,297	31,001	19,254	7,203	25,193

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
三春小学校	5,692	5,349	5,005	4,996	5,616	4,379	58,746
三春中学校	5,715	6,303	5,343	5,019	5,960	3,542	57,555
さくら共同調理場	2,611	2,870	2,449	2,444	2,937	2,230	29,025
沢石共同調理場	3,728	3,716	3,294	3,095	3,851	2,979	38,289
岩江幼稚園 岩江小学校	6,513	7,738	6,131	6,083	7,585	5,640	73,732
岩江中学校	2,234	2,744	2,453	2,310	2,696	1,830	26,128
計	26,493	28,720	24,675	23,947	28,645	20,600	283,475

(3) 修繕

施設名	修繕内容	金額 (円)
三春小学校	回転釜修繕 外	444,136 円
岩江小学校	食器洗浄機修繕 外	138,600 円
三春中学校	冷蔵庫修繕 外	1,094,753 円
岩江中学校	給食室トイレ蛇口修繕 外	163,900 円
さくら共同調理場	給食室水道修繕 外	699,534 円
沢石共同調理場	給食室漏水等修繕 外	623,117 円
計		3,164,040 円

(4) 工事

施設名	修繕内容	金額 (円)
岩江中学校	給食室蛇口・シンク交換 外	3,154,980 円
沢石共同調理場	事務室エアコン取付	124,300 円
計		3,279,280 円

(5) 備品購入

施設名	修繕内容	金額 (円)
三春小学校	消毒保管機	1,265,000 円
三春中学校	親子配膳台	330,000 円
さくら共同調理場	冷凍冷蔵庫 外	1,724,800 円
沢石共同調理場	冷凍冷蔵庫 外	1,139,600 円
計		4,459,400 円

(6) さくら・沢石共同調理場運営委員会の開催

さくら・沢石共同調理場業務の適正・円滑な運営のため、関係学校の校長、教頭、栄養職員、保護者代表、教育委員会職員等で組織した運営委員会をさくら・沢石の両共同調理場で年2回開催し、共同調理場の給食運営について協議した。

3 給食における放射性物質対策について

給食における検査は、前日の食材検査と事後の給食まるごと検査（給食完成品検査）を三春の里ベクレルセンターにおいて実施した。食材検査の検出下限値は20ベクレル/kg、まるごと検査は10ベクレル/kgであるが、いずれの結果も検出下限値を下回っており、安全な給食を提供することができた。

なお、これらの結果は、町ホームページや学校だより等で保護者に情報提供を行った。

令和4年度重点施策の実施状況

1 夢を支える確かな学力の育成

- 学校教育アドバイザー訪問を契機に、児童生徒の学びの事実から授業改革を推進し、一人一人の個性や持ち味を生かした主体的・対話的で深い学びを追究した。
- 「ふくしま学力調査」・「全国学力・学習状況調査」・「町総合学力調査」・「リーディングスキルテスト」の4つのテスト結果を分析し、各校の管理職や学力向上担当が参集する研修会で課題を明確にし、以降の指導に焦点化して取り組んだ。

2 夢を育む豊かな心の育成

- 生涯学習課、三春町国際交流協会と連動し、英語教育・異文化交流並びに豊かな心の醸成をめざして各事業の充実を図った。また、「外国語科」「外国語活動」アドバイザーとして小学校を訪問し助言、アドバイスをを行った。

3 夢をかなえるたくましい心身の育成

- いじめの未然防止・早期発見・早期対応をめざし、「三春町いじめ防止基本方針」の見直しを行うとともに、「いじめ問題対策協議会」において多機関・多職種連携のもとでのいじめ根絶を目指した。

4 地域で自立して生きる力の育成

- 特別支援教育研修会を公開講座とし、町全体での特別支援教育に関する指導力の質の向上と、共生社会の実現を目指し改善を行った。指導主事による各学校等への訪問相談会を実施し、指導・支援・経営等に関する話し合いの場を頻繁に設定した。

5 変化に対応して生きる力の育成

- 電子黒板の設置、児童生徒一人1台タブレット端末配置、デジタル教科書等のICT機器を活用した学びを促進するとともに、三春町学校教育研究員会を軸に、教職員の研修の充実のため情報提供・発信を行った。

I 夢が育つ学校教育の推進へむけて

1 学校経営懇談会 5回／年

教育長、教育次長、指導主事、各小・中学校長による教育上の諸問題の解決並びに学校経営充実のための検討や協議、情報交換を行った。「経営懇談会」の主旨を果たすべく、各回討論テーマを設定し、テーマのもと意見交換し、校長としてのマネジメント力向上を図った。

- 第1回 令和4年度「三春の教育」・指導の重点、小中学校管理規則、学校教育アドバイザー訪問、学力向上推進計画、学校訪問、中学校卒後の進路、特色ある学校づくり
- 第2回 学校教育アドバイザー訪問、新型コロナウイルス感染症対策、学校教育研究員会学力向上推進委員会、あこがれ教室、夏季休業中の生徒指導、夏季休業中の服務勤務、ワークエンゲージメント、国際理解
- 第3回 タブレット、全国・ふくしま学力調査の概要と改善方策、リーディングスキルテスト、労働衛生・危機管理体制、チーム学校づくり、服務倫理
- 第4回 ワークエンゲージメント、スタディーサプリ、部活動地域移行、令和4年度教育課程編成、全国学力・学習状況調査に係る改善方策、服務倫理、三春町学力調査、生徒指導上の課題対応
- 第5回 令和5年度研修計画、教育大綱・教育課指導の重点、教育課程届、学校評価、卒業式・入学式、三春町離任式、滝桜天然記念物指定100周年事業、不登校

2 教頭会議 2回／年

各学校の実務の中心となる教頭と「三春の教育」への共通理解を図り、各校の教育活動の推進に寄与すべく2回開催した。

- 第1回 三春の教育、教育大綱、指導の重点、校務支援システム、町教委提出文書、学校訪問、学校アドバイザー訪問、特別支援教育、英語教育関係、安全衛生管理、服務倫理
- 第2回 教育大綱、令和5年度指導の重点、教育課程編成、三春町学力調査、問題行動調査結果、幼保小中の連携

3 学校教育アドバイザー派遣事業・授業づくりセミナー

一昨年度、各校1回を基本に始まった学校教育アドバイザー派遣事業は、令和4年度で3年目を迎え、各校への派遣を基本的に2回に増やし、各アドバイザーより様々な助言・アドバイスをいただき、各校の授業力向上にむけた授業研究の在り方の改善、教師の児童生徒を見とる力の育成を図った。

小学校では令和2年度、中学校では令和3年より新学習指導要領が施行され、教師は「教える」から「学びをつくる」へ、児童生徒は「教わる」から「学ぶ」への転換が大切になった。従来の一斉授業からの脱却を目指し、「主体的・対話的で深い学び」すなわち、児童生徒が自ら進んで学び合い、考えを深め、身につけるべき3つの資質能力を獲得できるよう、アドバイザーと各校の課題について話し合いながら派遣事業を進めた。アドバイザーは、各校での講演・講義で全国の先進的な実践例を効果的に紹介しつつ、受講者の意識改革を図った。

- | | |
|------------------------|------|
| ○村瀬公胤 先生(麻布教育研究所長) | 4回 |
| ○永島孝嗣 先生(麻布教育研究所特別研究員) | 13回 |
| | 計17回 |

契約：学校教育アドバイザー業務委託

令和4年4月1日～令和5年3月31日 1,600,000円

また、授業づくりセミナーを9月8日に岩江小学校で実施した。町内の小中学校の教職員を対象に、佐藤 学 先生(東京大学名誉教授)を講師に招き、今求められる授業改革について研修会を実施した。

4 学校教育研究員会 6回/年

三春町教育委員会の基本方針である「子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり」を推進するために、研究員を2つのグループに分け、それぞれのテーマに基づいて、研究に取り組んだ。

(1) Aグループ「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革の研究」

研究員は在籍校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究を進めるとともに、1人につき1校、他校の学校教育アドバイザー訪問日の研修に参加した。また、自校の授業研究の推進状況や課題について情報交換し、自校の研修の改善に生かした。研究員は、子どもの学びの事実からわかったことや自校の活動に生かせる点などを学校訪問レポートとしてまとめ、各学校での指導に生かした。

(2) Bグループ「GIGAスクール構想に基づくICTの有効な活用」

一昨年度、電子黒板やタブレット端末等が整備され、授業での使用場面が増えた。授業におけるICTの効果的活用について授業実践と情報発信、課題を洗い出した。各学校で共有することにより、今後のICT利活用推進へむけ意識の向上を図った。

(3) A・Bグループ共通

学校教育研究員向けの研修として、夏季休業中に実施されている須賀川市教育研修センター主催の、「教科教育研修」及び「セミナー研修」へ希望者を募り派遣した。先進的な授業実践にふれ、研修してきたことをレポートにまとめ、各学校での指導に生かした。また、11月25日(金)に、茨城県牛久市「牛久市立ひたち野うしく小学校」「牛久市立ひたち野うしく中学校」を視察し、学校教育アドバイザー制度の先進的な取組について研修を深め、報告書にまとめることにより、各学校における積極的な研究推進を図るうえでの参考とした。

5 学力向上推進支援事業 通年

(1) 児童生徒の学力の実態把握

様々な観点から学力の実態を把握し、その結果を各校での指導に生かせるよう「学力向上推進委員会」や「学校経営懇談会」で情報を共有した。各校で指導の振り返りを行い、指導の改善策を講じるきっかけとなる研修を運営した。

- ①ふくしま学力調査 (令和4年4月13日実施、質問紙も含む)

- ・小学校4～6年（国語・算数）
- ・中学校1，2年（国語・数学）
- ②全国学力・学習状況調査（令和4年4月18日、中学校英語は4/19～5/26で分散実施）
中学校英語、児童生徒質問紙(4/10～5/16分散実施)の一部をオンラインで実施
 - ・小学校6年（国語・算数）
 - ・中学校3年（国語・数学・英語）
- ③町総合学力調査（令和4年12月20/21の任意日実施）
 - ・小学校1～6年（国語・算数）
 - ・中学校1～2年（国語・数学・英語）
 契約：町総合学力調査業務委託（単価契約）
 813，580円 受験者 小学校697人 中学校249人
- ④リーディングスキルテスト（令和4年10月3日～10月28日の任意日実施）
 - ・中学校1～2年
 契約：リーディングスキルテスト受験料
 470，085円 受験者 中学校259人

6 特別支援教育の取組

（1）就学について

三春町教育支援委員会に依頼し、審議した結果は以下のとおりであった。

○就学相談件数等

審議依頼 受理人数	判定結果				相談後の就学先			
	通常学級 入級適	通級指導 教室入級適	特別支援 学級入級適	特別支援 学校入校適	通常 学級	通級指導 教室	特別支援 学級	特別支援 学校
44人	6人	11人	26人	1人	9人	11人	23人 (知8人) (自情15人)	1人

（2）研修・指導について

①介助員研修会、特別支援学級・通級指導教室担当者会、特別支援教育関係担当者会（各2回）
における研修・指導の充実

専門的知識・技能を有する講師を招へいし、児童生徒に関わるすべての関係者の公開講座という位置づけで研修活動を支援することにより、研修を生かした指導の充実を目指した。

②共に学び、共に生きるための三春町特別支援教育訪問相談会の実施

指導主事が現場の保育士・教諭等と共に、幼児児童生徒の指導や学級経営等の悩みや課題等を共有し、指導・経営のあり方を探っていく訪問相談会を幼稚園・保育所、小学校、中学校を対象に計59回実施した。

（3）連携・協力による一人たりとも取り残さない切れ目のない指導・支援について

①3課連携・協力の促進

教育課・子育て支援課・保健福祉課の関係3課の連携・協力体制を確立し、児童生徒、保護者に多面的・多角的に関わり、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

②子育て支援課との5歳児発達相談の連携実施

5歳児発達相談における訪問観察を町内6施設を中心に訪問し、幼児の特性等の早期発見と、就学・自立を見通した個の教育的ニーズ等に応じた早期対応を図る機会とした。

特に今年度は、保護者に対する事前説明の機会として『就学説明会』を指導主事講師で実施し、5歳児発達相談会のねらいの達成を、より効果的なものとするよう計画した。

7 いじめの未然防止・早期発見・早期対応にむけて

○「三春町いじめ防止基本方針」の改訂

地域及び多機関連携を図りながら三春町全体に風土としていじめを許さない環境づくりと未然防止に努める体制づくりが求められる昨今の状況下、「三春町いじめ問題対策連絡協議会」において三春町いじめ防止基本方針の改訂を検討した。校長会、PTA、警察、児童相談所、関係行政各課の参加のもと、福島県の指針を受け、「重大案件」が発生した場合も見越し、「いじめはどこにおいても起こり得る可能性がある」、という前提のもとより実用性のある形で実施した。

8 三春町いじめ問題対策委員会の開催

教育委員会からの諮問を受け、三春中学校で発生した事象について審議するため、「三春町いじめ問題対策委員会」が発足され、合計4回の委員会が開催された。

第4回三春町いじめ問題対策委員会終了後に、委員会から教育委員会に答申された。

令和4年10月26日 第1回三春町いじめ問題対策委員会

令和4年11月16日 第2回三春町いじめ問題対策委員会

令和4年12月15日 第3回三春町いじめ問題対策委員会

令和5年 1月18日 第4回三春町いじめ問題対策委員会

9 グローバル化する社会に適応するための英語教育の充実

(1) 生涯学習課、NPO法人三春町国際交流協会との連携

国際理解教育推進事業「三春町青少年国際理解教育プログラム」「三春町小学生イングリッシュプログラム」「田村高校とライスレイク高校とのオンライン交流事業」「英語弁論大会（三春町国際交流協会主催）」など、学校と主催者をつなぎ、各事業の運営を支援した。

(2) 小学校「外国語科」「外国語活動」アドバイザー派遣事業

小学校3, 4年における外国語活動、小学校5, 6年における外国語科は、教科として採用されてまだ日が浅く、担当する教師も指導に不安を抱えていることが多い。

指導主事によるアドバイザー派遣を行った。授業を参観し、「外国語科」「外国語活動」の授業づくりについて助言、アドバイスをを行った。

・7月7日（木）沢石小学校〔6年〕 ・7月12日（火）中妻小学校〔3・4年〕

・8月31日（水）岩江小学校〔4年〕 ・9月14日（水）三春小学校〔5年〕

・9月21日（水）御木沢小学校〔6年〕 ・11月14日（月）中郷小学校〔5年〕

教育委員会 生涯学習課

生涯学習グループ

令和4年度重点施策の実施状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり（生涯学習・文化環境の充実、スポーツの振興）

目標5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり（地域間交流及び国際交流の推進）

目標6 協働と町民参画による自立したまちづくり（公共施設等の維持管理）

1 学びへの参加のきっかけづくりの推進

○まほらミュージックプロジェクトの開催

三春交流館「まほら」を会場として町民や小・中・高校生が若手演奏家や町外の芸術サークル等と交流する機会を設けることにより、芸術に対する理解や感性の向上、豊かな心を育むとともに、若手演奏家の育成及び郷土愛の醸成を図った。

2 多様な主体との連携・協働の推進

（1）三春町国際交流協会や田村高等学校との連携による国際交流事業の実施

○三春町青少年国際理解教育推進事業

新型コロナ禍で中止せざるを得なかったサマーキャンプ派遣を代替するものとして、ブリティッシュヒルズへの国内留学を実施した。その他の講座は下記の通り実施した。

○田村高校とライスレイク高校とのオンライン交流

昨年に引き続き、田村高校と姉妹校であるライスレイク高校をオンラインで結び、生徒同士の交流活動を実施した。

（2）三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

地域振興や町民の生活文化の向上を図ることを目的に4公演を開催した。

3 多様な人材の幅広い活動の推進

町民の生涯学習活動のニーズに対応できるよう、講師となり得る生涯学習人材の募集を行うとともに、ボランティアの醸成を図った。

4 生涯学習施設（所管分）の適正な維持管理と運営

建物の劣化状況に応じた適切な維持保全をすべく、長寿命化計画に基づき、工事・修繕の実施及び保守点検において指摘のあった事項について速やかに修繕対応した。

1 委員会等に関する事業

○社会教育委員…青少年及び成人に対して行われる教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、その他関係者に対し、助言と指導を行う。

委員長 佐久間伊一 副委員長 高野信広 委員 渡部友紀 佐久間美智子 白石修子

【任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日】

事業名	構成人数	時 期	内 容	場 所
社会教育委員	5	6月17日	第1回社会教育委員の会議 令和4年度事業計画	三春交流館「まほら」
		6月29日	田村地区社会教育委員連絡協議会第1回 総会（役員会）	小野町多目的研修集会 施設
		6月17日	県市町村社会教育委員連絡協議会総会	郡山市公会堂
		10月13日 ～14日	県社会教育研究集会	いわき市文化センター
		3月17日	第2回社会教育委員の会議 教育大綱について 男女共同参画計画について	三春交流館「まほら」

○生涯学習を進める町民会議…町民の意見を行政に反映させ、町民の生涯学習の普及・推進を図る。

委員長 柳沼孝則 副委員長 佐久間眞

委員 小池清美 佐久間亨 佐久間勝美 伊藤徳男 志田良一 柳沼学 高橋市太 新田信二
橋本司郎 村田マサ

【任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日】

事業名	構成人数	時 期	内 容	場 所
生涯学習を進める 町民会議	12	3月22日	三春町における生涯学習事業について	三春交流館「まほら」

○青少年問題協議会…青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の事項について、調査審議する。

会長 坂本浩之 副会長 伊丹勇次郎

委員 添田直彦 大内長久 相川義則 佐藤伸幸 白石修子 尾形幸男 吉田信子 大内昌子
柳沼公威 橋本和子 佐伯孝宏

幹事 教育次長兼教育課長 保健福祉課長 子育て支援課長 生涯学習課長

【任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日】

事業名	構成人数	時 期	内 容	場 所
青少年問題協議会 (第1回)	17	3月22日	青少年関係事業実績について	三春交流館「まほら」

○さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会…さくら湖自然観察ステーションで行う事業について、企画・運営する。

委員長 堀越正文 副委員長 佐々木浩一

委員 吉川久三 沖津二郎 武地優子 野中敏光 影山博 鈴木武 橋本宏克 山口登美男

【任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日】

事業名	構成人数	時 期	内 容
さくら湖自然観察ステーション 企画運営委員会	10	3月（書面）	令和3年度実績報告 令和4年度事業計画案について

2 学びへの参加のきっかけづくりの推進

(1) 町民のニーズを生かした講座の開催

①パソコン町民講座

三春町パソコン講座連絡協議会主催。新型コロナウイルス感染症予防のため事業中止。

②「子育て講演会」

・講師：陸上選手・パラリンピックマラソン伴走者 中田 崇志 氏

・題目：「大人は子どもの伴走者」

人数	時 期	内 容	場 所
57 名	2 月 12 日	スポーツ指導者の観点から見た子育てのあり方について学ぶことを目的とした研修会。	三春交流館「まほら」

(2) 高齢者学級事業

高齢化社会が進む中で、高齢者に対しての期待は大きく、集団学習を通して地域のネットワークを創り、生き方を学び合い、健康で明るく生活できる教養を身につけ、自立した地域社会づくりを推進する。

明德大学は、教育委員会が開設運営し、町全体から学生を募集し2学年制で行っている。地区高齢者学級は地区の方が自主的運営を行い、教育委員会が運営の支援を行っている。

○中央高齢者学級

事業名	人 数	時 期	内 容	場 所
明德大学 1・2 年生	1 年 (51 期) 21 名 2 年 (50 期) 23 名 (49 期) 32 名 (※令和 5 年 3 月現在)	月 1 回	4 月 1 年 (51 期) 入学式 49 期・50 期・51 期合同教養講座教育長講話 「三春町と私たちの未来〜ウェル・ビーイングの視点から〜」	三 春 交 流 館 「まほら」他
			5 月 50 期 移動学習 ひめさゆり群生地ほか視察 51 期 歴史講座「三春滝ザクラ」	
			6 月 49 期 卒業式 アトラクション (七弦琴演奏)	
			7 月 50 期 健康講座 「くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋①」 51 期 交通安全教室 「高齢者の交通安全と防犯」	
			8 月 50 期 健康講座 「くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋②」 51 期 健康講座 「フレイル予防①」	
			9 月 50 期 町定例議会一般質問傍聴 51 期 健康講座 「フレイル予防②」	
			10 月 50 期 健康講座 グラウンドゴルフ 51 期 移動学習 J ビレッジ・東日本大震災 原子力災害伝承館ほか	
			11 月 50 期 1 泊移動学習 五色沼・鶴ヶ城・大内宿ほか 51 期 移動学習 大内宿・塔のへつり・伊佐 須美神社ほか	
			12 月 50 期 健康講座 「冬季の健康管理について 〜放射線・感染症の話〜」 51 期 町定例議会一般質問傍聴	

			1月	50期・51期 合同 町長講話 「三春町の現状と課題について」	三春交流館 「まほら」他
			2月	50期・51期 合同教養学習 「家庭における省エネ節電の進め方」	
			3月	50期 卒業式 アトラクション（日本舞踊） 51期 修了式	

(3) まほらミュージックプロジェクトの開催

- ・音楽文化振興を目的に、町内小中学生や高校生、一般団体などを対象に6つの事業を開催。
- ・各事業のPR映像制作を行った。（業務委託249,700円）

	日程・事業名	出演	報償	参加人数
1	「Quartet Donka 弦楽四重奏コンサート」 (1) 5月26日(木) 小学校合奏部演奏指導 (2) 27日(金) 三春町立小学校鑑賞教室 (3) コンサート	Quartet Donka	500,000円	(1) 33名 (2) 150名 (3) 200名
2	7月31日(日) 「第1回・たむらいぶ」	田村高校ギター愛好会 現役生・OBOG	50,000円	53名
3	8月1日(月) 「合唱セミナー2022」	アイザワノーツ合同会社 代表取締役 相澤直人氏	120,000円	三春・岩江中学校 合唱部 49名
4	9月24日(土) 「佐藤秀徳トリオ with 工藤精・三春中学校吹奏楽部・ 田村高等学校吹奏楽部ジョイントコンサート」	佐藤秀徳氏・Momo氏・相川瞳氏・工藤精氏 田村高校・三春中学校吹奏楽部	499,488円	200名
5	10月29日(土) 「まほらコーラスフェスティバル」	三春小学校・三春中学校・ 岩江中学校・田村高校各合唱部 ミハルコーラス、コーロ・ミハル	100,000円	107名
6	12月17日(土) 「真灯かなた・GO-GOジャズオーケストラ クリスマスコンサート」	真灯かなた氏・ GO-GOジャズオーケストラ (パルレーン装飾会社含む)	153,000円	300名

(4) 生涯学習団体の活動支援

① 各種活動支援

事業名	団体数	時期	団体の支援
各種団体 支援	2	随時	・生涯学習支援ボランティアの会交付金 200,000円 ・三春町国際交流協会交付金 500,000円

② 生涯学習活動団体登録及び学習支援

生涯学習活動団体の学習の場の支援として使用料減免や文化祭等での発表の場の支援を実施した。

生涯学習活動団体登録 50団体

③ 文化祭の実施

期 間 令和4年10月15日(土) から11月13日(日) まで

開 幕 式 令和4年10月21日(金) 三春交流館「まほら」ホワイエ

参加団体 25団体(ホール発表4、合同展示8、個別発表・展示等13) ※うち新規団体2

来場者数 延べ12,909人(前年延べ2,909人)

【合同展示】11月4日(金) から11月6日(日)

参加団体	アトリエアオト、歴史民俗資料館友の会、人権擁護委員、行政相談委員、編物サークル、 三春遊墨会、パッチワークすずらんの会、NPO法人かたつむり でんでんむし
------	--

【個別展示・発表の部】 10月15日（土）から11月13日（日）

日程	行事名
10月15日(土)～16日(日)	白清会（池坊・小原・龍生合同で催す花展）
10月18日(火)～20日(木)	第52回三春町高齢者作品展示会
10月21日(金)～23日(日)	第34回フォトクラブ舞鶴写真展
	第44回三春美術展
	安里窯と仲間たち展
10月23日(日)	田村高校合唱部・吹奏楽部 第47回定期演奏会
10月25日(火)	神道流吟詠会 詩吟発表会
10月29日(土)	みはる・歌仲間 第3回歌と踊りの祭典
10月30日(日)	三春おやこ劇場 おみせやさんごっこ+鑑賞会+活動紹介
11月1日(火)	三春俳句会 俳句大会
11月3日(木)	茶道宗偏流松春会 お茶会
	舞扇会・松栄流すみれ会 芸能祭
11月5日(土)～6日(日)	商工観光グループ 三春町産業PR コーナー
11月6日(日)	三春囲碁クラブ 町民囲碁大会
11月11日(金)～13日(日)	和泉書道教室 「一期一会」（「書」との出会い）
11月12日(土)～13日(日)	数楽カフェ（in 三春） 数と形の美しい出会いVer2
11月13日(日)	グルッペ・ムジケ 音楽祭

- (5) 青少年健全育成事業…21世紀の社会を形成する青少年に対し、家庭・学校・地域がそれぞれの役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら社会全体で青少年の健全育成を図る。

二十歳を祝うつどい

時 期	人 数	内 容	場 所
令和5年1月8日	対象者 152名 出席者 116名 出席率 78.3%	二十歳を祝う式典開催 二十歳の証書・祝辞集作成配付 ※時間短縮・来賓縮小など 感染症対策を講じ実施。	三春交流館「まほら」

- (6) 生涯学習情報提供…IT・広報等を有効に活用し、学習情報の効果的な提供を行う。

広報媒体	内容
町広報、交流館広報「楽集まほら」	生涯学習情報やまほらイベントの周知
町ホームページ・YouTube・LINE・instagram	
三春まちづくり公社ホームページ	さくら湖自然観察ステーション 観察会

- (7) 公共施設予約システムの活用…インターネットで施設の空き状況確認や施設予約してもらうようシステムの利用を推進した。（システム年額使用料 726,000 円）

3 多様な主体との連携・協働の推進

(1) 三春町国際交流協会との連携による国際交流事業の充実

姉妹都市交流…姉妹都市アメリカ合衆国ウィスコンシン州ライスレイク市との交流を通じ、町民の国際理解向上と町の国際化を推進し、「草の根」交流を深める。

① 三春町青少年国際理解教育推進事業

事業名	時 期	内 容
・三春町小学生イングリッシュプログラム ・三春町青少年国際理解プログラム	6 月	○開講式（オリエンテーション、説明会） 参加者 8名（小学生）8名（中高生）
	7 月	○第1回講座 参加者 9名（小学生）7名（中高生）
	8 月	○第2回講座 参加者 9名（小学生）7名（中高生）
	9 月	○第3回講座 参加者 8名（小学生）3名（中高生）
	10 月	○第4回講座 参加者 7名（小学生）6名（中高生）
	11 月	○第5回講座 参加者 8名（小学生）6名（中高生）
	12 月	○第6回講座/閉講式・成果発表 参加者 9名（小学生）4名（中高生）
田村高校とライスレイク高校のオンライン交流	5月～2月まで	田村高校において、午前7時30分より40分程度Zoomによるオンライン交流を行った。（全6回；参加者10名程度）

○国内留学事業費

・国内留学（ブリティッシュヒルズ研修）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ライスレイク市への派遣にかえ国内で計画的な研修の機会を提供することにより、国際感覚を身に付けた人材を育成する。

項 目		金 額	摘 要
青少年国際理解プログラム（中高生） 8/15～17（2泊3日）	研 修 費	273,600 円	8名（9講座）
	宿 泊 費	337,440 円	8名（食費等含む）
小 計		611,040 円	
小学生イングリッシュプログラム（小学生） 8/15（日帰り）	研 修 費	52,800 円	8名（2講座）
	昼 食 費	14,400 円	8名
小 計		67,200 円	
引率者	宿 泊 費	124,800 円	3名（食費等含む）
小 計		124,800 円	
合 計		803,040 円	

○国内留学事業に係る参加負担金

積算基礎	金額	摘要
青少年国際理解プログラム費用総額÷参加者×1/3 =611,040×1/8×1/3 =25,460÷26,000 円（参加者1人あたり）	208,000 円	8名分

※小学生イングリッシュプログラムについては参加負担金なし

②国際交流館「ライスレイクの家」管理状況

・「ライスレイクの家」利用状況

年間利用人数 3,630人

年間使用料収入額 138,900円

・「ライスレイクの家」屋根・外壁改修工事 10,120,000円

(2) 三春ダムや三春まちづくり公社等と連携し、自然や環境に関する学習及び研修の機会を提供

① 各種学習会・観察会の開催…主に自然観察ステーションを活動場所として学習会・観察会を開催

開催日	学習会・観察会等の名称・内容	参加者
4月17日	野鳥の巣箱作り	6名
5月21日	カブトムシの幼虫採取教室	30名
6月19日	陶芸教室（一般向け）	11名
6月25日	草木染体験教室（子供向け）	16名
6月25日	ゲンジボタル観察会	52名
7月16日	昆虫観察会	36名
9月4日	草木染め教室（藍・茜）	24名
9月24日	粘土で遊ぼう（子供向け）	23名
10月29日	竹で作るおもちゃ	13名
11月26日	つるクラフト教室	9名
11月30日	勾玉作り	12名
12月17日	クリスマスキャンドル・ミニツリー	24名
2月25日	水鳥観察会	33名
4～11月 月2回	天体観察会（星を見る会等）	60名
合 計		349名

② 三春ダム等と連携し、自然の豊かさを体験したり自然や環境の理解を深めるイベントを開催

事業名	時 期	人 数	内 容	場所・講師・対象者等
森と湖に親しむ さくら湖自然教室2022	7月24日 (新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止)	参加申込者 101名	・コース概要 ①昆虫観察教室 ②水生生物観察教室 ③水上探検教室(Eボート・木工クラフト)	・三春ダム管理事務所 駐車場 ・三春ダム周辺・大滝根川流域の小学生とその保護者
さくら湖自然環境フォーラム2022	3月10日	会場 15名 WEB 105名 合計 120名	テーマ:～さくら湖流域からの最先端の生態学術研究の情報発信～ 【第1部】活動・研究報告 ①さくら湖流域協働ネットワークの活動 ②さくら湖での外来魚生態数把握の新技术～血縁度を用いた個体数推定の方法～ ③裏磐梯・猪苗代における特定外来	場所:自然観察ステーション (WEBにて外部配信を実施) ①さくら湖流域ネットワーク理事長 白岩良子 ②(一財)水源地環境センター研究第三部 大杉奉功 ③郡山女子大学家政学部 准教授 影山志保

			生物ウチダザリガニの分布調査 ④さくら湖における魚類の行動の 季節変化 ⑤植生浮島の面積が隔離水界内の 水質に及ぼす効果の再検証 【第2部】基調講演 ⑥環境DNA分析で明らかにするさ くら湖の魚類相	④北海道大学環境科学院生 態系変動解析分野 長岡祥平 ⑤日本大学工学部土木工学科 木村晃章 ⑥神戸大学大学院人間発達 環境学研究科 教授 源 利文
--	--	--	--	--

③ さくら湖自然観察ステーションの利用状況

○展示室入場者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
R4	361	254	242	576	528	380	345	324	102	93	155	114	3,474	152.8%
R3	281	266	163	109	290	230	262	359	100	21	50	143	2,274	

※見学等の申込者数に基づく集計（フリー見学は除く）としている。

○会議室利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
R4	156	141	157	331	263	156	77	185	165	176	188	390	2,385	117.4%
R3	180	151	171	365	136	79	184	208	191	51	97	218	2,031	

○天体ドーム利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
R4	4	0	0	0	0	12	0	44					60	166.7%
R3	1	0	1	7	0	0	2	25					36	

※冬期間（12月～3月）は「星を見る会」は実施していない。

④ さくら湖自然観察ステーションの管理状況（指定管理者「株式会社 三春まちづくり公社」）

項 目	時 期	内 容
さくら湖自然観察 ステーション管理 全般	4月1日 ～3月31日	・施設の保全（軽微な補修を含む） ・自然観察ステーション企画運営委員により、自然・生物・ 星の観察等の学習会・イベントを開催 ・展示室・会議室・天体ドームの管理 ・指定管理料 8,400,000 円

(3) 三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

- ・補助金等の交付 三春交流館運営協会 6,100,000 円
- ・交 付 目 的 三春交流館の有効活用を図り、芸術文化の創造と発信並びに交流事業に関する活動を通して、地域振興及び町民の生活文化の向上に寄与する。

月/日	公演名	総事業費	入場者数
6/26 (日)	吉田兄弟×レ・フレール スペシャルコラボコンサート	988,935 円 ※宝くじ助成事業	375 名
9/12 (日)	わらび座ミュージカル 「北斎マンガ」	3,171,914 円	339 名
11/27 (日)	鬼太鼓座創立 50 周年記念公演 DRAMA 開天闢地ー鬼太鼓座 巡礼の時ー	1,304,443 円	370 名
1/14 (土)	ニューイヤーコンサート 2023 ビッグウイングジャズオーケストラ	1,536,812 円	374 名

4 多様な人材の幅広い活動の推進

三春町生涯学習人材ガイドの登録推進

- ・生涯学習に関わる豊かな知識や経験をもつ人材に「三春町生涯学習人材ガイド」に登録していただき、学習活動や地域活動を希望する町民に情報提供し生涯学習の促進を図ることを目的とした制度。
- ・令和5年3月末現在登録者22名、利用実績1件。

5 三春滝ザクラ国天然記念物指定100周年記念事業

①三春滝ザクラフォト・アートコンテスト業務委託（491,700円）

- ・フォト部門107点、アート部門39点の応募があり、最優秀賞・優秀賞・特別賞を選定。その中から原付自動車のナンバープレートやオリジナル切手フレームの作成に活用した。

②三春滝ザクラ子孫樹等映像制作業務委託（495,000円）

- ・三春滝ザクラとその子孫樹を題材としたPR映像を7本制作し、YouTube三春町公式チャンネルで公開した。

6 生涯学習施設（所管分）の適正な維持管理と運営

(1) 三春交流館「まほら」維持管理

①設備管理

業務名	金額
空調設備保守点検業務委託	5,153,500円
建築物・建築設備・防火設備定期報告業務委託	218,570円
消防設備保守点検業務委託	462,000円
昇降機保守点検業務委託	528,000円
自家用電気工作物保守管理業務委託	347,609円
自動ドア設備保守点検業務委託	79,200円
施設管理（夜間・休日）業務委託	2,778,831円
清掃及び管理業務委託	2,035,495円
建築物環境衛生管理技術者業務委託	413,600円
特別清掃業務委託	532,000円
機械警備業務委託	132,000円
まほらホール椅子抗菌処理及び座起立ストッパー交換等業務委託	2,156,000円
地下タンク貯蔵所清掃業務委託	301,400円
まほら開館20周年記念ロゴマーク作成業務委託	110,000円
合 計	15,248,205円

②舞台管理

業務名	金額
舞台技術者業務委託	11,046,244円
舞台吊物等装置保守点検業務委託	1,261,700円
舞台照明設備保守点検業務委託	698,500円
舞台音響設備保守点検業務委託	814,000円
ピアノ保守点検業務委託	333,300円
合 計	14,153,744円

③施設・舞台修繕

修繕名	金 額
誘導灯・非常灯修繕 4 件	469,700 円
空調設備修繕 4 件	454,300 円
ホワイエ照明修繕	71,500 円
舞台電気設備修繕 2 件	485,595 円
自動ドア修繕	347,600 円
冷水器修繕	433,400 円
クセノンピンスポットライト修繕	1,351,350 円
休憩コーナーアート・正面玄関行灯修繕	122,100 円
その他修繕 9 件	229,570 円
合 計	3,965,115 円

④工事

工事名	金 額
ホール無線音声設備改修工事	2,178,000 円
舞台照明回路（電源）移設工事	1,090,100 円
舞台音響電源増設工事	770,000 円
ホール誘導灯消灯回路取替工事	341,000 円
小ホール壁・プロジェクター用張替工事	429,000 円
小ホール系統外気ダンパーモーター交換工事	385,000 円
小ホール照明器具更新工事	308,000 円
ホワイエ照明器具取替工事	224,400 円
駐車場区画線再設置工事	316,800 円
自動ドア防護柵取付工事	293,700 円
開館 20 周年記念シンボルツリー植栽工事	275,000 円
合 計	6,611,000 円

⑤備品購入

品名	金 額
舞台音響移動卓	1,173,700 円
舞台スピーカー	170,940 円
舞台移動スピーカー	157,960 円
ホール調整室用音響機器	257,400 円
日立掃除機	42,350 円
コードレススティッククリーナー	69,800 円
大型サーキュレーターフロアファン	59,400 円
自立式プロジェクタースクリーン	48,400 円
折りたたみ式テーブル	132,000 円
デジタルカメラ	129,800 円
合 計	2,241,750 円

(2) 地区交流館 6 分館

沢石会館、要田交流館大平荘、御木沢地区公民館、岩江センター、中妻地区公民館、中郷地区交流館

① 施設等維持補修

修繕名	金 額
沢石会館照明器具修繕	13,948 円
中妻地区公民館大広間ふすま・壁修繕	144,980 円
岩江センター玄関 LED 非常灯修繕	194,700 円
御木沢地区公民館誘導灯バッテリー及び LED 非常灯修繕	118,800 円
中郷地区交流館非常照明バッテリー修繕	341,000 円
要田交流館大平荘大ホール照明改修	1,248,500 円
その他修繕 (14 ヶ所)	483,141 円
合 計	2,545,069 円

② 施設設備等保守業務

業務名	金 額
清掃業務委託	669,240 円
空調設備保守管理業務委託	269,500 円
一般用電気工作物点検業務委託	292,600 円
消防設備保守点検業務委託	266,200 円
要田交流館浄化槽保守点検業務委託	49,500 円
岩江センターカーペット洗浄清掃業務委託	44,000 円
岩江センター建築設備定期調査業務委託	88,000 円
合 計	1,679,040 円

③ 施設改修工事

工事名	金 額
各地区交流館エアコン設置工事	15,268,000 円
合 計	15,268,000 円

④ 備品購入

品名	金 額
車椅子用アルミスロープ	105,094 円
デジタルコードレス電話機	24,200 円
合 計	129,294 円

⑤ 災害復旧工事

工事名	金 額
要田交流館大平荘屋根等修繕工事	2,596,000 円
合 計	2,596,000 円

社会体育グループ

令和4年度重点施策の実施状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり(スポーツの振興)

1 スポーツ活動の企画及び機会の確保に関する取組み

町の主要スポーツ大会等と位置付けていた、さくら湖マラソン大会、町民ソフトボール・家庭バレーボール大会とうつくしま・みずウオーク三春大会は、一部規模を縮小し開催した。

感染症の収束が見通せない状況ではあったが、スポーツ活動再開を支援するため、感染症対策を講じて、町営貝山プール開放、4回の各種スポーツ教室を実施した。

さらに、町選手団を編成し、第16回市町村対抗軟式野球大会並びに第9回市町村対抗ソフトボール大会、第34回ふくしま駅伝に参加し、ふくしま駅伝は町の部5位・総合16位の成績を収めた。

また、学校体育施設開放事業により地域のスポーツ活動・交流の場を確保するとともに、町体育協会・町スポーツ少年団活動への支援を行った。

2 体育施設利用環境整備に関する取組み

体育施設を長寿命化させる取組みとして、町民体育館音響設備改修工事、町民体育館屋内消火栓自家発電設備設置工事を施工した。

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響により、被災した町民第2体育館の災害復旧工事を施工した。

また、三春町公共施設予約システムの導入に伴い、社会体育施設でもシステムを稼働し、利用者の利便性向上と事務の効率化を図った。

1 基本方針

- (1) スポーツを通して心身ともに健康な町民の育成を図る。
- (2) 町民のスポーツ振興・拡充の推進を図る。
- (3) 町民が広くスポーツに親しめる環境の充実を図る。

2 職員組織

主任主査1人、主査1人、主事2人

3 令和4年度事務事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対応経過

期 間	対策方針	町の対応
年間随時	生涯学習課方針	・スポーツ団体に感染症対策徹底通知 ・社会体育施設内消毒・清掃等徹底

(2) 体育施設利用状況

施設名	4年度利用人数(人)	3年度利用人数(人)	備 考
① 三春町民体育館	15, 509	12, 424	

② 三春町民第2体育館	3, 549	2, 369	6月～8月 10月～12月 ワクチン集団接種 会場として使用
③ 三春町営運動場	5, 610	4, 433	
④ 三春町営野球場	4, 504	4, 739	
⑤ 三春町営テニスコート	12, 598	11, 694	
⑥ 三春町営貝山プール	512	494	
⑦ 三春町運動公園談話室	1, 150	1, 070	
⑧ 三春町営ボート場	546	524	
合 計	43, 978	37, 747	令和4年度歳入 体育施設使用料 1,962,200 円

(3) 町民のスポーツ振興のためのスポーツ推進委員活動

① スポーツ推進委員名簿（任期: 令和3年4月1日～令和5年3月31日）

三瓶 清友	橋本 由香里	柳沼 孝則	渡邊 清平
飛田 直	渡辺 昭好	佐久間 伊一	近内 正一
過足 奈美	遠藤 美由紀	吉村 久美子	門馬 喜美子

② スポーツ推進委員活動

委員名	時 期	内 容
三春町 スポー ツ推進 委員	4月27日	第1回三春町スポーツ推進委員会議
	6月1日	田村地方スポーツ推進委員連絡協議会監査会・役員会・総会（書面開催）
	6月12日	第24回さくら湖マラソン大会運営協力
	9月4日	三春町民ソフトボール・家庭バレーボール大会運営協力
	9月17日	うつくしま・みずウオーク大会2022三春大会運営協力
	10月2日	町民トレッキング教室講師
	12月16日	第2回三春町スポーツ推進委員会議
	1月20日	健康教室「ニュースポーツ体験」
	3月1日	第3回三春町スポーツ推進委員会議（書面開催）
合計出席（延べ）人数		委員報酬 22 人 127,600 円 委員報償 29 人 99,000 円

(4) 社会体育団体の育成及び支援

団体名	団体数	加入者(人)	内 容
三春町体育協会	13	981	各協会単位で各種大会を開催し、事業を展開。 町実施事業への後援・参加協力。 町補助金 220,000 円 町交付金 620,000 円
三春町スポーツ少年団	14	指導者:110 団 員:285	国・県スポーツ少年団に登録し、各単位団で各種大会を開催し、団員の健全育成を図る。 町補助金 380,100 円 町交付金 1,510,000 円

(5) 各種スポーツ大会等

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者・決算額
三春滝ザクラ天然記念物指定100周年記念第24回さくら湖マラソン大会	909 人	6 月 12 日	三春滝ザクラ天然記念物指定100周年記念として、県内限定 1,000 人規模の大会を開催した。	中郷学校及び三春ダム周辺 主催:さくら湖マラソン大会実行委員会
第75回県総合体育大会田村地方予選大会	4 チーム 出場 ※壮年ソフト 2 チーム	7 月 10 日	三春町出場チーム結果 壮年ソフト:優勝・準優勝 ソフトテニス:優勝 バドミントン:準優勝 家庭バレーボール:出場無し	壮年ソフト:三春町 ソフトテニス:三春町 バドミントン:田村市 家庭バレーボール:小野町 主催:田村地方体育協会連絡協議会
町営貝山プール開放	512 人	7 月 26 日 ～ 8 月 23 日	夏季休業中開放 営業日数 25 日のうち、天候不順等により 1 日間を休場とした。	町営プール監視業務委託料 3,088,800 円 町営プール循環装置保守点検業務委託料 342,100 円
第75回県総合体育大会県中地域大会	2 チーム 出場	8 月 28 日	三春町出場チーム結果 壮年ソフト:雨天により中止 ソフトテニス:優勝 バドミントン:予選ブロック敗退	壮年ソフト:三春町 ソフトテニス:牡丹台庭球場 バドミントン:鳥見山体育館 主催:福島県体育協会 出場町報償 60,000 円
第44回町民ソフトボール・家庭バレーボール大会	各 16チーム 276 名	9 月 4 日	ソフトボール 家庭バレーボール	ソフトボール 優勝:中郷 準優勝:御木沢 家庭バレーボール 優勝:御木沢 準優勝:大町
第16回市町村対抗福島県軟式野球大会	28 人	9 月 11 日 9 月 23 日 9 月 25 日 10 月 1 日	1回戦 7対5 鏡石町 2回戦 3対0 西郷村 3回戦 4対1 大玉村 4回戦 0対1 会津若松市	主催:福島民報社 県下 59 チーム参加 出場町報償 150,000 円
うつくしま・みずウオーク2022 三春大会	600 人	9 月 17 日	5km・10km コース	さくら湖周辺 主催:みずウオーク実行委員会 町補助金 879,000 円

三春町民トレッキング教室	22 人	10 月 2 日	町スポーツ推進委員講師	霊山 (伊達市)
健康教室「ニュースポーツ体験」	15 人	1 月 20 日	町スポーツ推進委員講師 ボッチャの体験会を実施	保健センター
第9回市町村対抗福島県ソフトボール大会	30 人	10 月 8 日	1回戦(初戦): 棚倉町 3 対 7(敗退)	主催: 福島民報社 県下 55 チーム参加 出場町報償 150,000 円
第 34 回ふくしま駅伝	29 人	11 月 20 日	町の部 5 位 総合 16 位	白河～福島 (16 区間、95.0km) 主催: 福島民報社 町交付金 1,630,000 円
三春町民スキー教室	1 回目: 15 人 2 回目: 23 人	1 月 15 日 2 月 19 日	町内在住・在学者、スポーツ少年団団員	沼尻スキー場(猪苗代町) 講師報償 34,800 円×2
第 12 回魁春旗争奪全国高等学校選抜柔道錬成三春大会	全国 高校 22 校	2 月 23 日 ～26 日	高校柔道のレベルアップ	三春町民体育館 主催: 全国高等学校選抜 柔道錬成三春大会実行 委員会 町交付金 800,000 円

(6) 社会体育施設の補修・修繕整備

工事(業務)名	請負金額	工 期	内 容	請 負 者
三春町民体育館屋内消火栓自家用発電設備設置工事	9,240,000 円	R4.6.30 ～ R4.12.27	自家用非常用発電機 設備1基、ネットフェンス 設置	(有)光和電気
三春町民体育館音響設備改修工事	4,466,000 円	R4.7.21 ～ R4.11.30	ワゴンアンプ、防球構造 型スピーカー設置 外	(有)馬場電気工 事
三春町運動公園倉庫修繕工事	210,100 円	R5.3.15 ～ R5.3.31	倉庫修繕	(株)菊地住建
三春町運動公園合併浄化槽蓋交換工事	1,567,500 円	R4.10.20 ～ R4.12.28	既設蓋撤去、マンホール 設置	本田設備工業 (株)
町民第 2 体育館地震災害復旧工事	5,192,000 円	R4.5.19 ～ R4.6.30	鋼製建具取替 一式	(株)渡伝組

(7) 社会体育施設の管理運営

事業・業務委託等	時 期	内 容	場 所	委託等内容
町民体育館清掃及び管理業務委託	通年	体育館清掃、運動公園 草刈及び夜間施設 管理業務	町民体育館、 町民第2体育 館、運動公園	(公社)三春町シルバー 人材センター 3,646,908 円

			内	
運動公園等草刈業務委託	6～9月	雑草刈払い	運動公園内、町営ボート場敷地内	(公社)三春町シルバー人材センター 418,000円
学校体育施設開放事業	通年	町内小中学校(8校)の体育館及びグラウンドを各登録団体(40団体)に開放	体育館及びグラウンド	管理員報償 7人 420,000円

(8) 体育施設利用環境整備に関する取組み

令和4年3月1日からの三春町公共施設予約システム開始に伴い、社会体育施設でもシステムを導入し利用を開始した。

・令和5年3月31日現在:利用登録団体数166団体(スポーツ団体)

令和4年度重点施策の実施状況

豊かな心と文化を育むまちづくりに関する取り組み

1 文化財保護の推進・支援

(1) 国指定天然記念物・三春滝ザクラを保護・保存する。

滝ザクラ周囲の草刈りや施肥等を地元の滝桜保存会に委託し、病虫害の発生や雪害に対する巡視等を専門業者に委託して一年間を通じた管理を実施した。また、滝ザクラの天然記念物指定100年を記念して、解説や植樹等を実施した。

(2) 指定文化財等を保存・管理する。

- ① 令和3年度に着手した国登録有形文化財「旧吉田家住宅紫雲閣」の修繕工事を完了した。
- ② 町指定天然記念物「南成田の大桜」について、3ヶ年の保全対策工事の最終年として見学路を新設したほか、駐車場に砂利敷きを実施した。
- ③ 町内の桜の名木・古木についてアンケート調査をし、台帳を作るとともに、樹木医による勉強会を開催した。
- ④ 開発に際して、1遺跡で工事の立ち会いを行うとともに、埋蔵文化財の周知を図るために埋蔵文化財地図を改訂増刷した。
- ⑤ 三春城VR製作事業（産業課所管）に協力するとともに、歴史民俗資料館内にVRの体験コーナーを設置した。
- ⑥ 民俗芸能等を継承保存する町内13団体に、交付金による支援を行った。

2 文化財の保存・公開施設の管理運営

- ① 歴史民俗資料館外の開口部に手すりを新設したほか、展示室の照明等を修繕し、施設の維持・管理に努めた。

3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

- ① 三春滝ザクラの天然記念物指定100年、習いものに関する企画展を開催し、河野広中の没後100年を記念した特別展を開始した。
- ② 新たな資料を収集するとともに、その整理を行い、貸出し・閲覧等に供した。
- ③ 展示解説や講座を開催するとともに、出前講座や講師の派遣等に対応した。

1 運営方針

地域の歴史・文化遺産を調査し、次の世代に伝えるために保存の措置を講じ、活用を推進するとともに、それらの情報を分りやすく発信することで、町民の文化への関心や生涯学習の意欲を高める支援をする。

2 職員組織

主幹兼館長1人 主幹兼副館長1人、主査2人 会計年度任用職員3人

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会（委員5名）

会議等名	時 期	場 所 等	内 容 等
第1回 会 議	5月31日	資料館 研修室	令和4年度文化財保護事業計画について

会議等名	時 期	場 所 等	内 容 等
指導者講習会	10月20日	会津坂下町	福島県文化財保護指導者講習会への参加（1名）
第2回会議	11月16日	資料館 研修室	令和4年度文化財保護事業、令和5年度文化財保護事業計画について
文化財防火査察	1月22日	中妻地区	塩釜神社（西方）、八雲神社（鷹巣）での防火査察に協力した。
視察研修	3月1日	茨城県 桜川市	「桜川市ヤマザクラ保存活用計画」について
文化財フォーラム	3月5日	自然観察 ステーション	「三春の伝統芸能」について、保存継承団体や一般の町民を交えて意見交換をした（参加者28名）。

（2）滝ザクラの保存啓蒙事業（三春滝ザクラ天然記念物指定100周年記念事業）

事業名	時 期	内 容
巡視	随時	経常的な巡視のほかに、特に大雨、強風、積雪時に巡視を実施した。
管理施肥業務委託	通年	地元の滝桜保存会に、年5回程度の草刈りと堆肥の作成・施肥（12月11日）、巡視・通報を委託（150,000円）。
雪害・病虫害予防巡視及び除雪作業委託	通年	専門業者に、月1回（春から秋）の病虫害発生状況の確認と積雪時の巡視、着雪時の雪下ろし作業を委託（巡視8回、66,880円）。アメリカシロヒトリ駆除の薬剤散布（7月1日、178,200円）、カイガラムシ駆除の石灰硫黄合剤散布（1月31日、399,300円）
中郷小学校「滝桜を守る会」	6月22日 7月15日	滝ザクラの種子採取作業の指導・協力 指定100年記念「わたしたちの滝ザクラ」出前授業
町内外小学校への滝ザクラ解説	6月	三春小学校6年生企画展解説、新潟県柏崎市立日吉小学校展示解説・現地学習、沢石小学校3・4年生企画展解説・現地学習
みずウオーク三春大会でのパネル展示	9月17日	みずウオークの会場で、滝ザクラの古写真や保護活動のパネルを展示し、参加者に案内した。
東京アメリカンクラブへの記念植樹	1月21日	天然記念物指定100年を記念して、東京都港区麻布台の三春藩下屋敷跡地に所在する東京アメリカンクラブ敷地内に、滝ザクラの子孫樹を植樹した。

（3）指定文化財等の保存・管理事業

事業名	時 期	内 容 等
指定文化財の管理	通年	主に屋外に所在する文化財を随時巡視した。
南成田の大桜管理施肥業務委託	通年	地元の「南成田の大桜を守る会」に、草刈りと施肥等管理業務を委託（80,000円）。
紫雲閣修繕工事	前年度～3月31日	国登録有形文化財の旧吉田家住宅紫雲閣の修繕工事を実施した（工事請負費63,580,000円、設計監理費2,874,300円。前年度繰越）。
三春城VR製作、公開普及事業	通年 (2月完成)	産業課が所管する三春城のVR製作事業に協力するほか、資料館内にVR体験コーナーを設置した。このほか普及事業として、生涯学習ボランティアの会(5/14)、県立本宮高校(6/3)、三春ウオーク(11/5)で現地でのVR体験に協力した。
南成田の大桜保全対策工事	10月7日～2月28日	3ヶ年事業の最終年として、見学者用の階段と見学路を設置（事業費1,067,000円、内203,280円県森林環境交付金）。ほかに見学者のための駐車場用地に砂利敷きを実施した（214,500円）。
ブリタニカ百科事典書架の修繕	11月	町指定文化財のブリタニカ百科事典（館蔵）を収納する木製書架を修繕した（22,550円）。

事業名	時期	内容等
文化財案内板の修理	11月	八幡神社の参道工事に伴い案内板1基を移設・修理した(30,800円)。
文化財防火デー防火査察	1月22日	田村消防署、三春町消防団と、塩釜神社(西方)、八雲神社(鷹巣)で、各管理者の立会いのもとで防火査察を実施した。

(4) 町内桜の名木調査事業

滝ザクラの後継となる桜を保存管理する目的で、町内の桜の名木・古木について、三春さくらの会、各まちづくり協会、歴民友の会等にアンケートを実施し、合計154本の台帳を作成した。2月5日に鈴木俊行樹木医による勉強会を自然観察ステーションで開催し、80名が参加した。

(5) 埋蔵文化財保護事業

事業名	時期	内容等
埋蔵文化財包蔵地照会確認業務	通年	工事や土地取引に際して、78件89箇所の照会に回答した(このうち2箇所が遺跡に該当し、現況を確認し計画変更等を依頼)。
三春城跡工事立会	5月21日	三春城跡の本丸下駐車場での携帯電話基地局建設工事に立会した。遺構・遺物等は確認されなかった。
三春町埋蔵文化財地図の改訂	3月	埋蔵文化財地図に文化財の解説を加えて、A1判1,000部を印刷した(地図データ作成委託70,950円、印刷費80,300円)。

(6) 文化財保護保存団体育成事業(団体の育成、文化財の継承を目的に、各2万円を交付)

団体名	地区	対象文化財等
垢潜奉新会	富沢	町文化財・垢潜三匹獅子舞(火雷、天日鷲神社)
田村大元神社三匹獅子舞保存会	新町	町文化財・田村大元神社の三匹獅子舞
高木神社三匹獅子舞保存会	実沢	町文化財・高木神社の三匹獅子舞
樋渡三匹獅子舞保存会	樋渡	町文化財・樋渡の三匹獅子舞(樋渡神社)
荒獅子保存会	荒町	町文化財・八雲神社の長獅子舞
田村大元神社別火講中	新町	町文化財・田村大元神社の長獅子舞
八幡町若連	八幡町	町文化財・八幡神社の長獅子舞
斎藤太々神楽保存会	斎藤	町文化財・斎藤の太々神楽(見渡神社)
上舞木御神楽講保存会	上舞木	町文化財・直毘神社の太々神楽
巖島神社榊講社	御祭	巖島神社の太々神楽
三輪神社神楽保存会	庄司	笹山神社の太々神楽
大町太鼓保存会	大町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子
中町若連会	中町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子

4 資料館等管理運営事業

(1) 歴史民俗資料館運営協議会(委員7名)

会議等名	時期	場所等	内容等
第1回会議	6月15日	資料館研修室	令和4年度事業計画について
第2回会議	12月20日	資料館研修室	令和4年度事業経過、令和5年度事業計画について
第3回会議	2月17日	ライスレイクの家	令和4年度事業経過、令和5年度事業計画について

(2) 施設管理・運営（資料館、人形館、伝承館）

施設名	時 期	内 容 等
歴史民俗資料館	通年	・周辺環境管理業務委託（草刈・館外清掃等） 426,250 円 ・自家用電気工作物保安管理業務委託 162,386 円 ・浄化槽清掃保守点検管理業務委託 28,160 円 ・空調機保守点検業務委託 206,800 円 ・自動ドア保守点検業務委託 42,900 円 ・特別収蔵庫消火設備保守点検業務委託 66,000 円 ・自動体外式除細動器借上げ 75,240 円
	6 月	トイレ修繕 30,800 円
	6 月 3 日～7 月 31 日	資料館北側開口部手すり設置工事 572,000 円
	9 月 5 日～9 日	燻蒸等業務委託 1,815,000 円
	9 月	浄化槽清掃 70,610 円
	10 月	空調機修繕 11,000 円
	11 月 24 日～2 月 22 日	展示室天井照明改修工事（LED 化） 1,298,000 円
	12 月	ガス湯沸器交換修繕 26,000 円
	3 月	特別収蔵庫蒸気加湿用シリンダー交換修繕 72,600 円
資料館・人形館	通年	・消防設備保守点検業務委託 137,500 円 ・機械警備業務委託 224,400 円
	3 月	臨時清掃業務委託（ガラス、床面等の清掃） 121,000 円
郷土人形館	通年	・管理業務委託（12 月～2 月は冬期休館） 1,476,314 円 ・一般用電気工作物保安管理業務委託 37,400 円
	8 月	人形館借地（564.18 m ² ）買上げ 20,874,660 円
	9 月	非常警報器具交換 106,700 円
文化伝承館	通年	管理業務委託（生涯学習支援ボランティアの会、12 月～2 月は冬期休館） 543,600 円
	土日祝日等	管理業務委託（三春町シルバー人材センター） 709,401 円
	7 月	敷地内立木伐採 121,000 円
	3 月	トイレ洗面台修繕 55,000 円

(3) 友の会活動支援（個人会員 107 名）

事業名	時 期	内 容 等	参加者数
学習会	通年 11 回	展示解説 3 回、歴史講話、史跡散策、県立美術館展示見学、縄文土器作り・野焼き、町文化祭合同展示出展、三春の桜勉強会、茶話会	延べ 257 人
町外研修	11 月 1 日・3 日	山形市（文翔館、最上義光歴史館、山形城跡、山形県立博物館、山形市郷土館）	33 人
グループ活動	通年	方言を学ぶ会（計 6 回）	延べ 32 人
		縄文土器を作る会（計 21 回）	延べ 91 人
		つるし飾りを作る会（計 20 回）	延べ 107 人
		三春の歴史を知ろう 歴史紙芝居を作る会（計 14 回）	延べ 66 人

5 展示・学芸事業

(1) 歴史民俗資料館・自由民権記念館常設展・企画展（年間入館者 5,524 人、入館料 724,520 円）

展示名	期 間	内 容 等	入館者数
春季企画展「三春滝ザクラ」	4月2日～6月26日	滝ザクラが天然記念物に指定されて 100 年を記念して、滝ザクラの歴史や保護について展示。	1,965 人
秋季企画展「三春のおけいこ」	10月8日～12月4日	近世から現代にかけて、三春で行われた習いものを紹介する展示。	773 人
スポット展「太田聴雨」	同上	仙台出身の日本画家・太田聴雨が、戦前に滝桜を描いたスケッチブックを子孫から借用して展示。	同上
春季特別展「河野広中の生涯」	3月25日～5月28日	河野広中の没後 100 年を記念して、その生涯を紹介する展示。	168 人
常設展「きのうの三春・はるかな三春」	通年	縄文時代から明治維新までの歴史資料と、城下町や周辺農村の民俗資料で、三春の歴史・文化を紹介。	※2,618 人
自由民権記念館（常設展）	通年	明治時代の自由民権運動について、三春出身の自由民権運動家を顕彰する展示。	
福島県民の日	8月21日	福島県民の日を記念した無料開放	資料館 36 人
東北文化の日	10月29・30日	東北文化の日を記念した無料開放	資料館 80 人 人形館 10 人

※企画展等開催期間以外の入館者数

(2) 郷土人形館、文化伝承館展示

展示名	期 間	内 容 等	入館者数
郷土人形館常設展	通年（12～2月冬期休館）	昭和初期に東北地方の郷土玩具を収集した「らっこコレクション」を 2 棟の土蔵で展示。入館料 123,350 円（友の会の 32,100 円を含む）	543 人
文化伝承館常設展	通年（12～2月冬期休館）	明治時代の生糸商・吉田氏の住宅主屋と蔵座敷「紫雲閣」を公開。但し紫雲閣は修繕工事中のため公開中止。団体等での利用が 3 団体 3 回。	987 人
つるし飾り作品展	3月～5月	生涯学習支援ボランティアの会の作品を文化伝承館の広間等に展示した。	

(3) 資料の収集・管理・整理事業

事業名	内 容 等
資料の収集	新規寄贈 9 件、新規寄託 4 件
収蔵資料の管理	寄託更新事務（4 件を更新）
収蔵資料の貸出（出展）	・福島県立美術館、ほか巡回（人形等 55 件 前年度より） ・福島県立美術館（亜欧堂田善画天日鷲神社奉納絵馬）
写真の貸出・掲載	出版社・研究者等 11 件
資料の閲覧・撮影	研究者等 13 件
古文書整理	福島大学人間発達文化学類（小松賢司准教授）による川又家文書整理作業（2 回）

(4) 各種講座の開催

事業名	時 期	内 容
体験講座	夏休み、ほか	・夏季体験講座①まが玉作り（7月23日～8月21日の土・日曜日 31 組 95 人） ・夏季体験講座②縄文土器作り（8月9日～11日 19 組 42 人） ・縄文土器野焼き（10月29日 34 人） ・三春秋まつり「三春城 VR 体験」（11月5日～6日）まほら小ホール、城山本丸跡
依頼（出前）講座	随時（7 件）	町内外の生涯学習等団体の依頼による歴史講話

事業名	時 期	内 容
展示解説	随時（9 件）	各種団体の依頼により常設展・企画展等を展示解説
町内学校学習支援	随時（19 件）	町内小中学校、高校の児童生徒、教員向けの展示解説 14 件、各学校での講話など 5 件

（５）出版物の刊行

図書名	規格等	内 容
戦争体験報告書 「三春と戦争」	A4 判 20 頁 200 部	令和 3 年夏季企画展「三春と戦争」で、調査・整理した三春町での戦争体験をまとめた報告書。
れきみんブックレット③ 「三春のざっと昔ばなし」	A5 判 60 頁 1,000 部	平成元年に岩江・中妻・中郷地区の高齢者学級でまとめた昔話に、他の文献等からの記事を加えて再録したもの。

令和4年度 施設利用状況報告

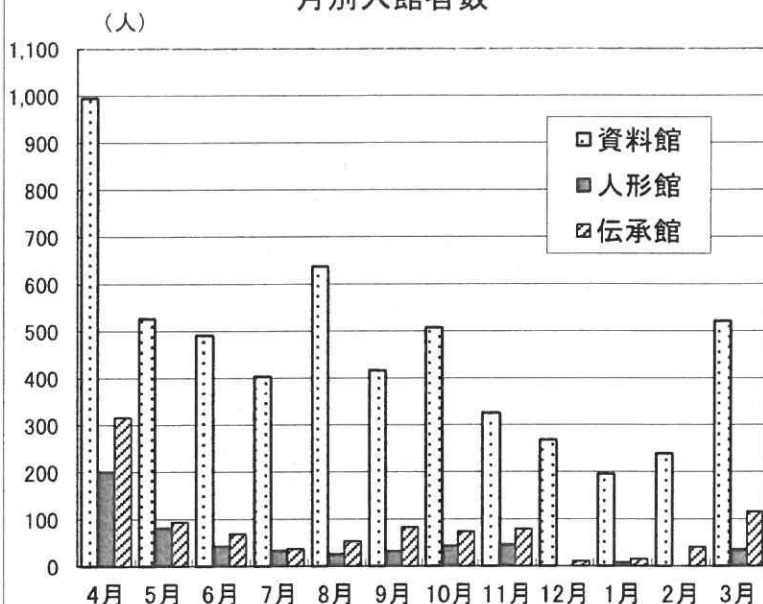
◎月別入館者数 (単位:人)

	資料館	人形館	伝承館	計
4月	995	201	316	1,512
5月	526	81	94	701
6月	491	42	69	602
7月	403	33	37	473
8月	637	25	53	715
9月	416	31	83	530
10月	507	43	74	624
11月	325	45	79	449
12月	268	0	10	278
1月	196	7	15	218
2月	239	0	41	280
3月	521	35	116	672
計	5,524	543	987	7,054

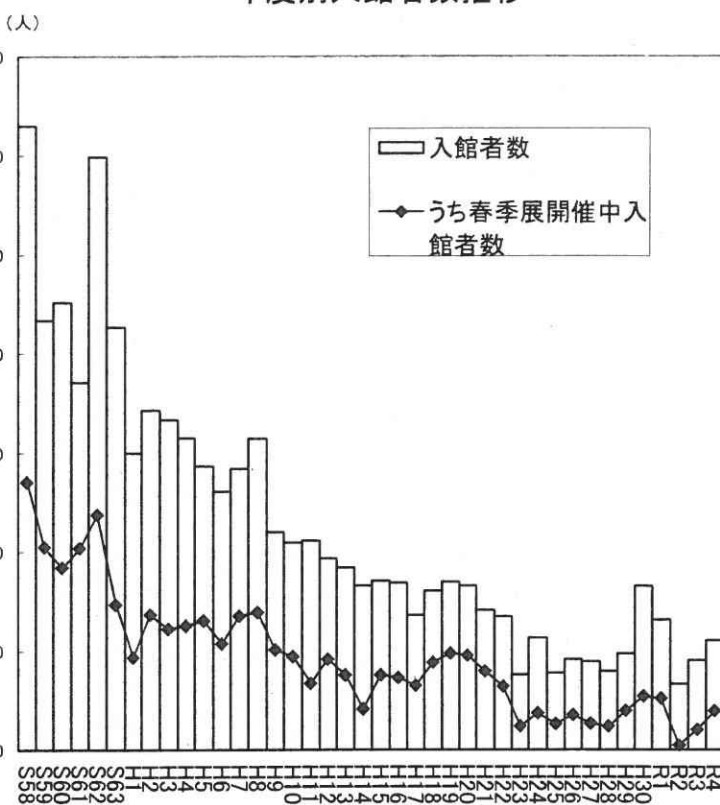
◎ 資料館年度別入館者数(単位:人)

	入館者数	うち春季展 開催中入	春季展テ マ
S58	31,515	13,515	雪村
S59	21,696	10,241	みちのくの古人形
S60	22,596	9,202	安東・秋田氏展
S61	18,544	10,179	三春の自由民権運動
S62	29,947	11,868	三春田村氏と伊達政宗
S63	21,358	7,344	松下氏三春への道
H1	14,972	4,677	縄文の石と折り
H2	17,158	6,824	三春藩
H3	16,647	6,116	三春真照寺
H4	15,746	6,260	三春高乾院
H5	14,307	6,526	三春福聚寺
H6	13,051	5,361	三春法蔵寺
H7	14,195	6,760	女性の粧い
H8	15,709	6,949	三春の浄土宗
H9	10,996	5,047	大瀧郡川沢家の通財
H10	10,462	4,718	三春城と城下町
H11	10,553	3,345	近代三春の夜明け
H12	9,680	4,568	文六焼
H13	9,207	3,771	三春人形と木型
H14	8,288	2,061	奥四で見る自由民権運動
H15	8,535	3,764	三春藩主秋田氏
H16	8,433	3,641	三春城と仙道の城
H17	6,787	3,250	春陽の士
H18	8,035	4,397	田村大元神社
H19	8,489	4,870	さくら咲く
H20	8,286	4,765	春が来た
H21	7,059	3,970	花咲く里
H22	6,736	3,210	三春人形が語る絆
H23	3,787	1,189	家を継ぐ
H24	5,644	1,846	家徳と三春の姫君
H25	3,871	1,313	藩校から学校へ
H26	4,561	1,769	三春の春彩々
H27	4,445	1,326	手わざと三春
H28	3,975	1,183	鎌田悌次郎
H29	4,850	1,976	大高正人
H30	8,268	2,715	愛姫
R1	6,580	2,596	石塚省三
R2	3,312	233	ハコ―何を入れたの
R3	4,505	1,018	図録「三春城と城下町
R4	5,524	1,965	三春藩ザクラ
累計	448,309	186,328	

月別入館者数



年度別入館者数推移



累計入館者数

10万人
20万人
30万人
40万人

昭和62年度(1987) 開館5年目
平成4年度(1992) 開館11年目
平成12年度(2000) 開館18年目
平成25年度(2013) 開館31年目

令和4年度重点事業施策の実施状況

豊かな心と文化を育むまちづくりに関する取り組み

生涯学習・文化環境の充実

教育大綱第1期に基づく運営

(1) 図書館活用推進（大綱施策1）

・開館時間の延長や桜ホールでの郷土資料等の閲覧サービスを継続して実施した。

(2) 利用者サイドに立った図書館運営（大綱施策2）

・適切な蔵書管理に資するべく図書館管理システムを更新した。

(3) 各地域へのサービス充実（大綱施策4）

・いつも身近に本がある環境の充実を図るため、4地区交流館図書室でのテーマ展示を行い（年4回入替え）、地区交流館図書室の利活用を推進した。

(4) 学校との連携・学習支援（大綱施策5）

・図書館ボランティアの協力のもと、教育機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策をしながら、おはなし会や図書館行事を実施した。

1 基本方針

- (1) みんなが本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざす。
- (2) 利用者の要望を把握し、図書館業務に反映させていく。
- (3) 三春の歴史と文化を継承し、豊かな社会づくり、人づくりを支援する。
- (4) 各地域へのサービス体系を整備する。
- (5) 学校との連携を図り、学習への支援を行っていく。

2 図書館組織

総括主幹兼館長 1 人 主幹(司書) 2 人 会計年度任用職員 3 人(内司書 2 名)

3 図書館事業

(1) 図書館業務にかかる職員研修、会議

- | | | |
|------------|-----|------------|
| ①各種研修・研究集会 | 7 回 | 参加者：職員 7 名 |
| ②各種会議 | 1 回 | 参加者：職員 1 名 |

(2) 三春町民図書館協議会

三春町民図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関。

1) 第16期委員

役 職	委員名	初期任命日	任 期
委員長	堀 江 恵 子	H18. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
副委員長	宗 像 美	H22. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	小 山 保 子	H26. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	橋 本 清 二	H30. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	羽 染 聡	R4. 4. 1	第16期 R4. 4. 1～R4. 10. 31

2) 第17期委員

役 職	委員名	初期任命日	任 期
委員長	橋 本 清 二	H30. 11. 1	第17期 R4. 11. 1～R6. 10. 31
副委員長	辻 裕	R4. 11. 1	第17期 R4. 11. 1～R6. 10. 31
委 員	羽 染 聡	R4. 4. 1	第17期 R4. 11. 1～R6. 10. 31
委 員	宗 像 淳 子	R4. 11. 1	第17期 R4. 11. 1～R6. 10. 31
委 員	長谷川 ちえ	R4. 11. 1	第17期 R4. 11. 1～R6. 10. 31

3) 令和4年度開催概要

会議等名	月/日	場所等	内 容
第1回定例会	6/15	国際交流館 「ライスレイクの家」	○令和3年度三春町民図書館事業報告について ○三春町民図書館要覧（令和4年度版）（案）について ○その他
第2回定例会	11/22	三春交流館 まほら 楽屋A	○第17期委員への委嘱状交付 ○三春町第1期教育大綱について ○三春町民図書館の概要について ○令和5年度三春町民図書館の運営計画（案）について
第3回定例会	2/21	国際交流館 「ライスレイクの家」	○令和4年度三春町民図書館事業報告（速報） ○令和5年度三春町民図書館事業概要について

(3) 図書館ボランティア

図書館ボランティア名簿登録者の図書館事業及び活動への参画。

1) 図書館ボランティアの会議等

- ・「図書館ボランティアの会」読み聞かせ班打ち合わせ（毎月第3木曜日実施）
わんぱくクラブへの出前おはなし会終了後に、次回話し手当番等を打合せ
- ・ボランティア全体会：令和5年3月23日実施 8名出席
令和4年度の事業報告と、次年度の計画について

2) 「図書館ボランティアの会」の活動

①読み聞かせ班

後記「読書推進事業」の「出前おはなし会」協力

②制作班：活動日 毎月第3金曜日

令和4年度活動実績

実施数	活動者数（人）	内 容
10	35	・ひなまつり用品 ・ペープサート ・手袋人形

3) 布絵本グループの活動

活動日：毎月第2、第4金曜日

令和4年度は、コロナ禍により活動を休止。

令和4年度活動実績：22回・75人

・生け花：随時、図書館入り口に季節の花を生けている。 59回

実施計画：	ミニおはなし会	随時	職員のみ
	絵本とわらべ唄	毎月第2火曜日11:00	職員のみ

4) ブックスタート事業

乳幼児と保護者を対象に「ブックスタートパック」（図書館利用案内等資料、絵本1冊、トートバッグ）を配布。

・配布方法、実績

司書が毎月3・4か月児健診時に保健センターへ出向き、保護者へブックスタート事業の内容を説明したり、読み聞かせの実演をしながら配布。

【実績】12回 75セット

5) 読み聞かせ講習会

読み聞かせの意義について学び、実際に読み聞かせを行うためのヒントやコツをつかんでもらうための講習会。

○開催日と参加者数

・6月28日 参加者 12名

6) 朗読講習会

平成30年度からの企画。昨年度からは図書館ボランティアの会との共催で、声に出して読むことの楽しさなどを学習する会。

○開催回数、参加者

・開催時期と回数 7月から10月 全5回

・参加者数 20名(登録人数)

7) 新春おはなし会

田村高校JRCインターアクト部との共催で、図書館ボランティアも参加し、お話しと昔話を上演した。

1月28日 参加者 23名

8) その他の読書推進活動

① 例月展示テーマ(下記)を設定し、館内におすすめ資料を展示(70～90冊)

月	テーマ	月	テーマ
4月	桜	10月	三春滝ザクラ(天然記念物指定100年記念)
5月	こどもの日	11月	秋の実り
6月	時の記念日	12月	クリスマス
7月	七夕	1月	冬のスポーツ
8月	夏祭り	2月	バレンタインデー
9月	十五夜	3月	ひなまつり

② ミニ展示テーマ設定(随時)(20～30冊)

【コーナー配置場所：雑誌コーナーの隣、ロッカーの上】

「地図の日を読む」、「沖縄返還50年」、「川端康成を読む」、「歯と口と健康の本」、「夏休み自由研究ガイド」、「映画監督・黒沢明氏を読む」、「認知症(アルツハイマー月間)」、「おけいこ」など

【コーナー配置場所：児童書コーナー内】

「桜の絵本」、「エリック・カールさん」、「水木しげる生誕100年&妖怪の日」
「アーノルド・ローベルさん」など

【コーナー配置場所：YA(ヤングアダルト)コーナー】

「自殺予防対策」、「東野圭吾」、「スマホやネットの使い方」「友情」

③ 各種リストなど資料PR物作成

館内、役場「桜ホール」、各地区交流館図書室に配置。図書館ホームページに掲載 ほか

- ・ 新着本／展示資料リスト：毎月発行、一般書と児童書に区分
- ・ 「歯と口の健康週間」「食育月間」へのブックリスト提供
(保健福祉課からの依頼により作成、提供)
- ・ 三春の桜に関する新聞記事(H2～R3)検索表

④ 出張展示(随時)

交流館まほら等での開催行事に参加。

- ・ 4月2日～6月26日 春季企画展「三春滝ザクラ」
- ・ 7月3日 三春おやこ劇場「子どもに伝えたい話」
- ・ 11月23日 三春おやこ劇場「世界一の口笛ショー」
- ・ 10月8日～12月4日 秋季企画展「三春のおけいこ」

⑤ 季節飾り

- ・ 読書の滝桜：4月6日から5月6日まで(館内)

(2) 関係機関とのネットワーク事業

1) 他図書館等との相互協力

- ・ 国立国会図書館、全国公共図書館、福島県立図書館、福島県内公共図書館との相互貸借や情報共有、研修会参加など

2) 三春町内関係機関との連携事業

①各地区交流館図書室の資料管理

- ・ 毎月、職員が巡回し、本館の情報提供や図書室の資料整備を実施。
- ・ 御木沢、沢石、中妻、中郷地区館でのテーマ展示(各館4回更新)

②保健福祉課・社協との連携

- ・ 「世界アルツハイマー月間」展示への書影提供、展示協力
- ・ 「自殺予防月間」への展示協力

③各教育機関への巡回文庫貸出

小学校、幼稚園及び児童関連施設への読書活動援助のため、各施設を巡回し、配本・回収を行った。

- ・ 巡回先：町立小学校6箇所、町立幼・保5箇所、三春幼保園、児童クラブ2箇所、子育て支援センター
- ・ 配本数：小学校 220冊、幼稚園・保育所 120冊、児童クラブ 100冊、子育て支援センター 50冊
- ・ 巡回日 1回目：6/21-23 2回目：10/18-21 3回目：2/14-17

④図書館見学受入

- ・ 町内小学校児童(主に2年生)
三春小52名、岩江小51名、中妻小16名、中郷小3名、御木沢小13名、沢石小9名
- ・ 中郷幼稚園児(3～5歳)9名

⑤職場体験受入

9/6～9/7 岩江中学生徒 2名

⑥視察研修受入

9/28 国見町図書館関係者 6名

(3) 図書館管理、運営

1) 施設管理

随時、関係機関と調整し、実施した。

月/日	内容等
4/19	ガラス清掃
6/1	1階女子トイレ天井修繕 (NTT管理)
6/7	事務機器ネットワーク点検 (NTT管理)
6/21、23～25、7/5、10/18	空調機器点検 (NTT管理)
7/1、2/14	防災設備点検 (NTT管理)
10/4～6	図書館システム更改
12/7	害虫調査トラップ設置 (NTT管理)

2) 図書館運営

① 新型コロナウイルス予防対策

- ・ 手指消毒の徹底、マスク着用
- ・ 毎日2回の館内消毒、閲覧席の使用数・使用時間制限

3) 資料整備

収集基準や廃棄基準等に沿って資料の収集、整備等に努めた。

資料収集、廃棄にかかる特記事項を下記に掲載。

・ 三春町に関する新聞記事の収集・整理

「平成29年分からの三春町民図書館新聞クリッピング事務要項」に沿って事務を実施。職員への情報提供も行った。

収集対象：三春町関連記事

製本方法：日付順 (参考 製本冊数 41冊)

・ 資料廃棄

月/日	内容等
4/7～5/31	除籍本配布 (桜ホール)
6/2～7/5	寄贈本配布 (桜ホール)
6/18, 19	古雑誌配布 (カウンター前) : 6/21～桜ホールへ
7/7～9/6	除籍本配布 (桜ホール)
9/8～11/1	寄贈本配布 (桜ホール)
11/2～1/3	除籍本配布 (桜ホール)
1/4～2/28	寄贈本配布 (桜ホール)
3/2～5/1	除籍本配布 (桜ホール)

4) 運営及び利用状況のまとめ

① 開館日数 284日

② 入館者数 24,971人

③ 個人貸出人数 9,644人

後述の「5 三春町民図書館統計、利用状況」に詳細を掲載。

5 三春町民図書館統計、利用状況

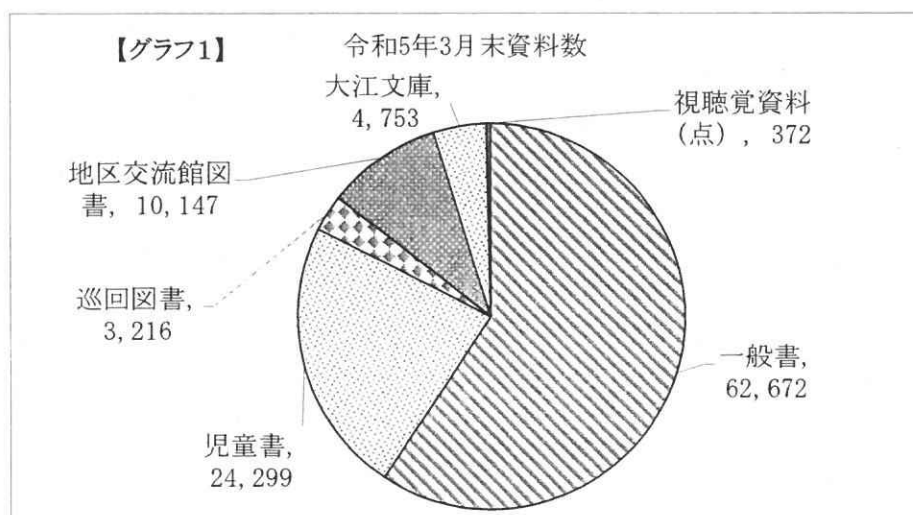
(1) 資料管理

【表1】令和5年3月末 図書館資料数

(単位：点)

分類	R4年 3月末 資料数	R4年度		R5年3月末	
		増加数	減少数	資料数	比率
図書資料					
一般書	63,411	1,714	2,453	62,672	59.6%
児童書	24,112	766	579	24,299	23.1%
巡回図書	3,196	47	27	3,216	3.1%
地区交流館図書	10,234	120	207	10,147	9.7%
大江文庫	4,753	0	0	4,753	4.5%
小計	105,706	2,647	3,266	105,087	100.0%
視聴覚資料(点)	475	19	122	372	
総計	106,181	2,666	3,388	105,459	

※ 「増加・減少数」欄は、購入や除籍のほかに場所変更分を含んだ数値です。



※一般書：62,672冊 59.4%、児童書：24,299冊 23.1%、その他：18,488冊 17.5%

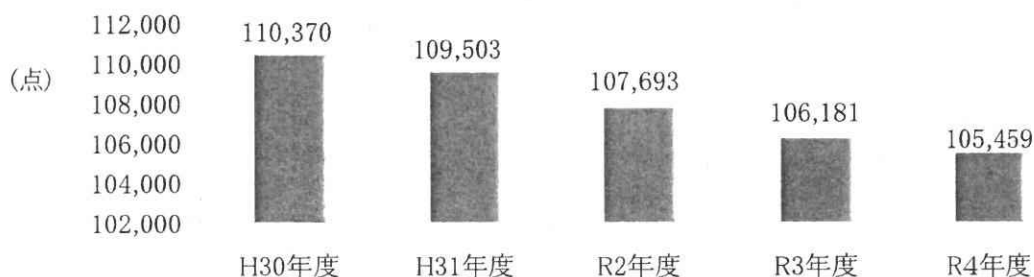
【表2】図書館資料数(含視聴覚資料)の推移

蔵書数の増加を抑えるために、資料としての価値を見極めながら除籍を進めている。

項目	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
年度末資料数	110,370	109,503	107,693	106,181	105,459
年度中増減数	△ 1,349	△ 867	△ 1,810	△ 1,512	△ 722

【グラフ2】

令和4年3月末 資料数



(2) 利用状況

【表3】令和4年度 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開館日数(日)	24	23	25	26	24	24		
入館者数(人)	2,173	1,982	2,131	2,277	1,987	2,145		
貸出点数(点)	2,656	2,454	4,974	3,034	2,721	2,678		
内個人貸出	2,398	2,319	2,360	2,597	2,447	2,321		
貸出人数(人)	892	842	899	924	873	855		
内個人	863	811	827	877	829	800		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	個人貸出割合
開館日数(日)	23	23	23	23	21	25	284	
入館者数(人)	2,128	2,157	1,951	2,105	1,867	2,068	24,971	
貸出点数(点)	5,079	2,531	2,514	2,500	4,771	2,631	38,543	100.0%
内個人貸出	2,336	2,190	2,170	2,241	2,310	2,352	28,041	72.8%
貸出人数(人)	877	800	814	798	814	848	10,236	100.0%
内個人	799	752	759	760	762	805	9,644	94.2%

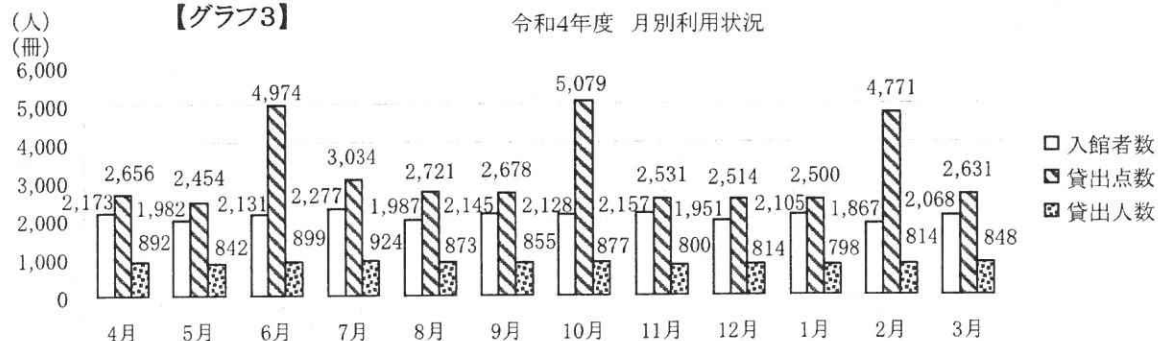
※貸出の資料区分の内訳比率：図書 93.0%、雑誌 6.1%、視聴覚 0.9%

※入館者に対する個人貸出者の割合：約39%

※6・10・2月の貸出点数が多いのは、「巡回文庫」で貸出したため。

【グラフ3】

令和4年度 月別利用状況

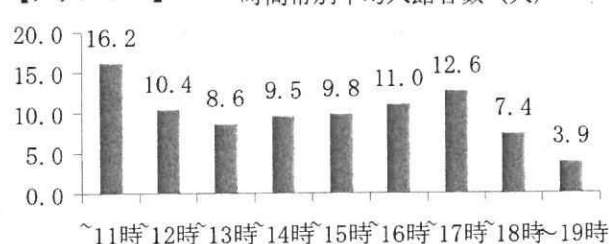


【表4】令和4年度 時間帯別・曜日別入館者数の状況

曜日	集計 日数	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	～19時	計	1日平均入 館者数a
火	48	699	535	425	487	508	649	783	412	187	4,685	97.6
水	39	573	333	298	386	330	351	369	248	212	3,100	79.5
木	45	787	472	372	451	442	462	434	361	182	3,963	88.1
金	51	925	542	461	467	451	774	1,124	367	128	5,239	102.7
土	50	798	552	487	494	526	462	389	349		4,057	81.1
日	51	807	512	403	417	518	431	488	351		3,927	77.0
合計	284	4,589	2,946	2,446	2,702	2,775	3,129	3,587	2,088	709	24,971	87.9
1日平均入館者数a		16.2	10.4	8.6	9.5	9.8	11.0	12.6	7.4	3.9	87.9	

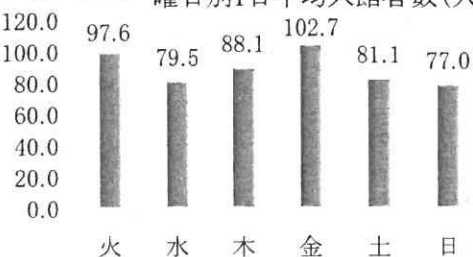
【グラフ4-1】

時間帯別平均入館者数(人)



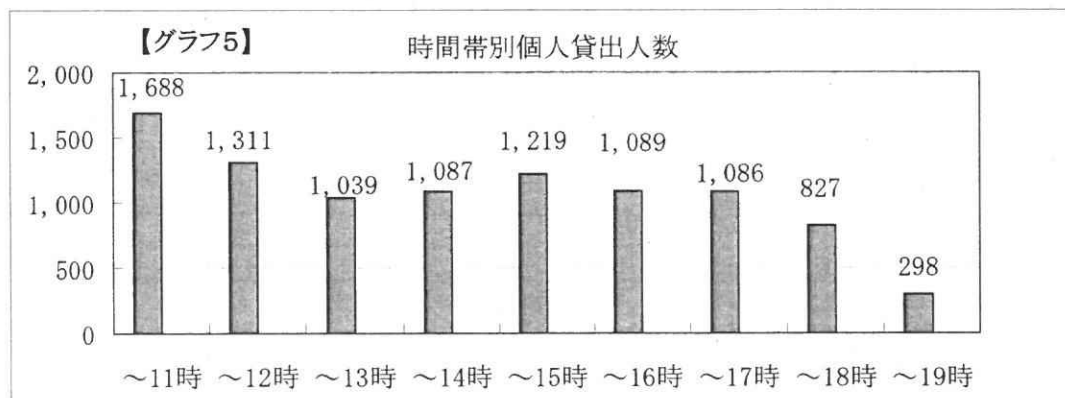
【グラフ4-2】

曜日別1日平均入館者数(人)



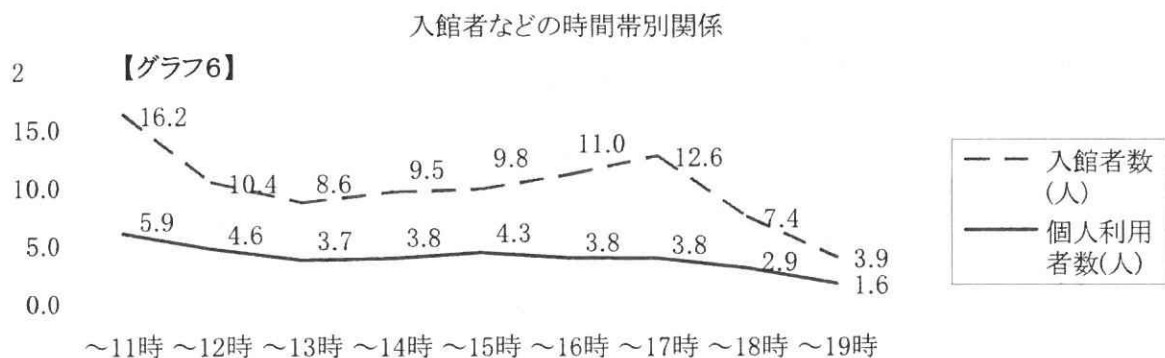
【表5】令和4年度 時間帯別個人貸出人数

時間	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	～19時	計	開館日数
利用者数(人)	1,688	1,311	1,039	1,087	1,219	1,089	1,086	827	298	9,644	284日
平均(人)	5.9	4.6	3.7	3.8	4.3	3.8	3.8	2.9	1.6	34.0	
割合	17.5%	13.6%	10.8%	11.3%	12.6%	11.3%	11.3%	8.6%	3.1%	100.0%	



【表6】令和4年度 入館者数、個人利用者数の時間帯別関係（1日平均値）

項目	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	～19時	計
入館者数(人)	16.2	10.4	8.6	9.5	9.8	11.0	12.6	7.4	3.9	87.9
個人利用者数(人)	5.9	4.6	3.7	3.8	4.3	3.8	3.8	2.9	1.6	34.0

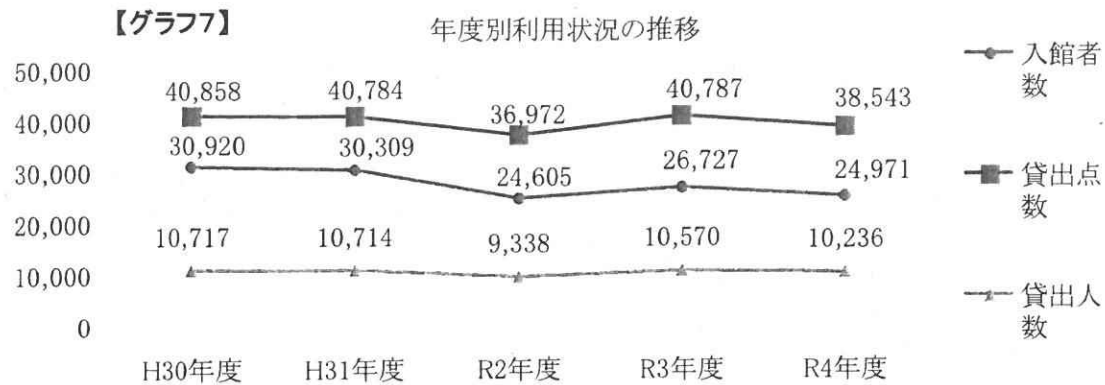


【表7】年度別利用状況の推移

項目	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
入館者数	30,920	30,309	24,605	26,727	24,971
貸出点数	40,858	40,784	36,972	40,787	38,543
個人	30,806	31,275	27,307	30,282	28,041
貸出人数	10,717	10,714	9,338	10,570	10,236
個人	10,271	10,305	8,965	10,028	9,644
開館日数	286	283	266	285	284

1日当たりに換算

入館者数	108	107	93	94	88
貸出点数	143	144	139	143	136
個人	108	111	103	106	99
貸出人数	37	38	35	37	36
個人	36	36	34	35	34



(3) 図書館運営状況

【表8】 利用者状況 (1年以内に利用した人数)

年齢別

(単位：人)

性別	年齢 (歳)												合計
	～6	7～9	10～12	13～15	16～18	19～22	23～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
男	22	21	28	5	6	4	11	22	24	31	63	100	337
女	22	34	31	22	18	10	28	86	88	86	113	129	667
計	44	55	59	27	24	14	39	108	112	117	176	229	1,004

地区別

(単位：人)

地区名	旧町							沢石	要田	御木沢	岩江	中妻	中郷	合計
	大町	中町	八幡町	荒町	北町	新町	八島台							
個人	44	33	60	71	33	102	145	34	57	124	147	42	96	988
団体	14	0	0	7	0	1	3	6	2	3	8	6	13	63

【表9】 予約件数推移

(単位：点)

年度	一般書	児童書	雑誌	視聴覚	合計	対前年度比
R2年度	245	14	26	1	286	107.9%
R3年度	297	20	26	0	343	119.9%
R4年度	321	23	30	1	375	109.3%

【表10】 リクエスト対応件数推移

(単位：冊)

年度	購入	相互借受	合計	対前年度比	相互貸出
R2年度	217	82	299	103.1%	11
R3年度	212	69	281	94.0%	24
R4年度	206	72	278	98.9%	35

【表11】 他図書館との相互貸借の推移

年度	貸 出									
	県内		県外				その他		計	
			(北日本)		(左以外)					
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
R2年度	10	10	1	1	0	0	0	0	11	11
R3年度	20	21	3	3	0	0	0	0	23	24
R4年度	25	32	3	3	0	0	0	0	28	35

年度	借 受											
	県内		県立 図書館		県外				その他		計	
					(北日本)		(左以外)					
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
R2年度	19	30	21	45	5	7	0	0	0	0	45	82
R3年度	28	39	15	27	2	3	0	0	0	0	45	69
R4年度	34	42	14	22	7	7	0	0	1	1	56	72

【表12】 レファレンス受付件数

(単位：件)

年度	所蔵 案内	対前年 度比	調査 相談	対前年 度比	合計	対前年度比
R2年度	951	90.9%	52	110.6%	1,003	91.8%
R3年度	1,060	111.5%	29	55.8%	1,089	108.6%
R4年度	1,137	107.3%	40	137.9%	1,177	108.1%

※用語説明

レファレンス(reference service)：図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

【表13】 インターネット用PC利用申込数 (単位：件)

年度	小中高生	一般	合計	対前年度比
R2年度	3	11	14	35.0%
R3年度	0	7	7	50.0%
R4年度	0	11	11	157.1%

(4) 地区交流館図書室の図書貸出状況

地区交流館名 利用階層		沢石会館		御木沢 地区公民館		岩江 センター		中妻地区公 民館		中郷地区交 流館		合計	
		中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人
H30年度	利用者(人)	0	0	0	0	259	62	0	0	21	1	280	63
	貸出数(冊)	0	0	0	0	785	117	0	0	67	2	852	119
H31年度	利用者(人)	0	1	1	0	158	36	2	0	0	0	161	37
	貸出数(冊)	0	1	2	0	398	53	2	0	0	0	402	54
R2年度	利用者(人)	0	0	2	1	427	2	1	21	0	0	430	24
	貸出数(冊)	0	0	4	2	1185	2	1	21	0	0	1190	25
R3年度	利用者(人)	5	1	0	0	685	14	0	28	0	0	690	43
	貸出数(冊)	10	1	0	0	1,803	26	0	28	0	0	1,813	55
R4年度	利用者(人)	0	0	4	0	281	17	3	18	0	0	288	35
	貸出数(冊)	0	0	7	0	2,068	53	3	18	0	0	2,078	71

児童生活センター

令和4年度重点施策の進捗状況

1 放課後子ども総合プラン推進事業に関する取り組み

(1) 児童クラブ運営事業

・放課後留守家庭となる児童が過ごす居場所として、三春小学校西校舎1階でわんぱくクラブ、岩江センターで岩江児童クラブ、御木沢小学校体育館で御木沢児童クラブの放課後児童クラブを3ヵ所で運営した。

新型コロナウイルス感染状況を鑑み、親子行事は中止としたが、地域交流事業や地域に拓く活動など、感染予防に努めながら事業を実施した。

(2) まほらっこ教室運営事業

・放課後の児童の安心・安全な居場所として小学校の空き教室や体育館又は地区の公民館を利用して地域のボランティアの方々の協力をいただき、全小学校区でまほらっこ教室を運営した。

また、児童クラブのない地域では、延長・長期休業中教室を実施した。新型コロナウイルス感染予防を講じながら、ダンス教室や制作等の夏休みイベントを開催し、各教室工夫しながら異学年交流を行うことができた。

(3) 令和5年度運営に向けた取り組み

・わんぱくクラブの児童数の増加により、定員を90名から120名とし、3支援単位から4支援単位に増やして運営することとした。それに伴い、クラブ室増設のための改修工事、職員体制の準備、運営に必要な物品の購入等を行った。

・岩江児童クラブにおいても、児童数が増加傾向にあることから定員の見直しを行い、定員を60名から100名に増やした。それに伴い、職員体制の準備、必要な物品の購入等を行った。

・延長利用料金について、従来の利用では回数にかかわらず、ひと月2,000円であったが、1回の利用つき500円、4回以上の利用から2,000円とする改正を行った。

1 運営方針

- (1) 異年齢集団など、仲間との人間関係を広げる。
- (2) 子どもの自主的・自治的活動体験を豊かにする。
- (3) 地域の関係団体や地域住民との交流を図る。

2 職員（令和5年3月現在）

所長1人、主任主査（再任用）2人、主査2人、会計年度任用職員28人

計33人（内 放課後児童支援員（有資格者） 23人）

まほらっこ教室コーディネーター3人、ボランティア40人

3 令和4年度事業

(1) 放課後子ども総合プランの推進

放課後の安全・安心な居場所づくりをさらにより良いものとするため、放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を開催し、各委員から質問、意見等をいただいた。

①放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

委員長 吉川 久三	副委員長 猪狩 仁	平山 聡	佐久間 務
伊藤 茂	安齊 純代	渡辺 勝	宗像 以知子
柳沼 公威	篠原 晶子	渡邊 克史	佐久間 美智子

②放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会開催状況

会議名	人数	開催日	内 容	場 所
第1回委員会	11名	6月23日	・委嘱状交付 ・放課後子ども総合プラン推進事業の概要について	三春交流館 「まほら」 ホワイエ
第2回委員会	9名	12月9日	・事業中間報告 ・次年度の運営について ・今後の取り組み方針について	三春交流館 「まほら」 ホワイエ
第3回委員会	10名	3月16日	・児童クラブの現況について ・まほらっこ教室の現況について ・令和5年度の運営について	三春交流館 「まほら」 ホワイエ

(2) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

①実施状況

(令和5年3月末現在)

クラブ名	定員	4月 児童数	3月 児童数	職員数	実施場所 開 設 日	開設日数
わんぱくクラブ	90名	84名	82名	14名	三春小学校西校舎1階 月～金・第3～第5土曜日	年間 267日
岩江児童クラブ	60名	71名	72名	8名	岩江センター 月～金・第2土曜日	年間 255日
御木沢児童クラブ	30名	38名	35名	4名	御木沢小学校体育館 月～金・第1土曜日	年間 252日

②令和4年度岩江児童クラブの長期・延長利用状況

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常利用 (8:30～18:00)	71	73	73	73	75	74	71	71	74	73	72	72	872
長期利用 (7:30～18:30)	30			42	39				30	22		38	201
延長利用 (18:30まで)	14	15	18	17		17	17	13	15	13	15	16	170
利用合計(のべ)	115	88	91	132	114	91	88	84	119	108	87	126	1,243

※「長期利用」「延長利用」については、「通常利用」の内数

※8月の延長利用分は9月に含まれている。

③児童クラブ運営

総事業費	70,908,557 円
収 入	【補助金】 子ども・子育て支援交付金(国 1/3) 22,552,000 円 (内 237,000 円は返還予定) 子ども・子育て支援交付金(県 1/3) 22,315,000 円 【保護者負担金】 保護者協力金 3,067,000 円 スポーツ安全保険料 160,800 円
主な支出内容	【放課後子ども環境整備事業分】 ○児童生活センター(わんぱくクラブ) 工 事 費 1,484,120 円 (わんぱくクラブ室増設、収納棚設置、収納スペース設置) 備品購入費 1,210,385 円 (ジョイントクッション、児童用テーブル、加湿空気清浄機、移動式パーティション等) ○岩江児童クラブ 備品購入費 205,508 円 (ジョイントクッション、飛沫防止用パーティション、職員用ロッカー)

④安全対策(避難訓練)

クラブ名	月 日	想 定	内 容
わんぱくクラブ	6月24日	地 震	避難時の注意事項説明、三春小校庭へ避難、まほらっこ教室との合同訓練
	11月11日	火 災	避難時の注意事項説明、三春小校庭へ避難、まほらっこ教室との合同訓練
岩江児童クラブ	6月17日	火 災	避難時の注意事項説明、岩江小校庭へ避難
	9月16日	地 震 火 災	避難時の注意事項説明、岩江小駐車場へ避難
御木沢児童クラブ	6月24日	地 震	避難時の注意事項説明、御木沢小校庭へ避難
	10月20日	火 災	避難時の注意事項説明、御木沢小校庭へ避難

⑤今年度の主な実施事業

ア 各クラブ年間季節行事

◎すべての児童クラブにおいて毎月けん玉検定を実施

月	わんぱくクラブ	岩江児童クラブ	御木沢児童クラブ
4月	入所式(7日) 所内外探検・生活指導・下校指導	入所式(7日) 母の日プレゼント制作(ブレスレット、メッセージカード)	入所式(7日) お花見(13日) 危険箇所確認(14日) 母の日プレゼント制作(メッセージ入り似顔絵)
5月	体を動かそう! リレー&ペットボトルキッカー(16日) 感謝の日の制作(アイロンビーズのブレスレット)	父の日プレゼント制作(ブレスレット、メッセージカード) お買い物ごっこ(16日)	父の日プレゼント制作(メッセージ入り似顔絵) 写し絵・ゲーム遊び(16日)
6月	避難訓練(24日) 七夕飾り制作・短冊制作	避難訓練(17日) 七夕飾り制作・飾り付け	避難訓練(24日) 七夕飾り制作・短冊制作
7月	水鉄砲で遊ぼう(21日) イルカの風鈴作り(25日)	おはなし会「紙芝居・歌あそび」(20日)	広告を折って飛行機を飛ばそう(27日)
8月	敬老園へのプレゼント制作(写真ケース、メッセージボード) キラキラスライム制作(9日)	※(新型コロナウイルス感染拡大のため縁日等中止)	リアル人生ゲーム(2日) レクリエーション「ボッチャ・カラーリング・輪投げ」(9日)
9月	敬老の日プレゼント制作(和風ペン立てとメッセージカード) けん玉週間 半紙でランプシェード制作	避難訓練(16日) 敬老の日プレゼント制作(メッセージカード、児童一人ひとりの写真)	敬老の日プレゼント制作(オブジェとメッセージ入りポップアップカード)
10月	ハロウィン制作・撮影会 チューリップの球根植え(17日:1年生)	岩江文化祭用作品制作(ちぎり絵) ハロウィン制作・パーティー(31日)	避難訓練(20日) ハロウィン制作
11月	干支張り子の絵付け 避難訓練(11日) ダンス教室・クリスマス制作(21日)	干支張子の絵付け	チューリップの球根植え(10日) 干支張子の絵付け
12月	お楽しみ抽選会(7日)	クリスマス会(23日)	クリスマスお楽しみ会(23日)
1月	ストラックアウト・ラダーゲッター的当て大会(6日) ベーゴマ教室 節分制作	初詣(直毘神社)(5日) 団子さし(14日)	初詣(八雲神社)(5日) ベーゴマ教室 スクラッチアート 節分制作
2月	ひなまつり制作 終了製作(アイロンビーズ)	節分制作	ひなまつり制作
3月	終了制作(プラバン) ビンゴ大会(1日) 終了式・お別れ会(22日)	終了式(24日)	終了式(23日)

イ 地域に拓く活動（土曜・長期休業など）

児童生活センター事業として、関係団体や地域住民との交流を図り、異年齢集団における仲間との人間的関わりを広げる事業として、地域に拓く活動を行っている。新型コロナウイルス感染症のため、実施を見合わせたものもあったが、感染予防に努めながら実施することができた。

第1土曜日は御木沢児童クラブ、第2土曜日は岩江児童クラブ、第3～第5土曜日はわんぱくクラブを開所し、通常預かりや自由参加による下記事業を実施した。

事業名	実施日		実施内容	人数
◎体育館で遊ぼう (御木沢児童クラブ) ※体育館で体を動かして遊ぶ。	第1土曜日 (自由参加)	5月7日	新聞紙ので玉入れ	8名
		7月2日	風船バレーボール	4名
		9月3日	棒立てバランス	2名
		10月1日	新聞ホッケー！！	4名
		11月5日	だるまさんが転んだ！！	1名
◎料理教室 (岩江児童クラブ) ※作る過程、食べる楽しさ、食物の大切さを学ぶ。	第2土曜日 (自由参加)	6月11日	ロールサンドアラカルト！！	6名
		7月9日	スペシャルパフェ！！	11名
		10月8日	ポリ袋で作る超簡単ピザ	6名
		12月10日	サンタとトナカイのカップケーキ	13名
		3月11日	デザートと食事のクレープ	8名
◎ボランティア活動 (わんぱくクラブ) ※活動を通し奉仕の心を育てる。	第3土曜日 第4土曜日 (自由参加)	6月18日	三春小周辺の清掃活動	7名
		9月17日	敬老園訪問・清掃活動	7名
		11月26日	三春小周辺の清掃活動	7名
		1月21日	ボランティアの方々へのプレゼント制作	5名
◎ミニシアター (わんぱくクラブ) ※昔話などの読み聞かせや映画・ビデオ上映により豊かな心を育む。	第3土曜日 第4土曜日 (自由参加)	6月18日	絵本1、紙芝居1、DVD3	9名
		9月17日	絵本1、紙芝居1、DVD3	10名
		11月26日	絵本2、紙芝居1、DVD3	8名
		1月21日	絵本2、紙芝居1、DVD3	6名
◎おりがみ教室 (わんぱくクラブ) ※各種の折り紙に挑戦し、想像力を養う。	第3土曜日 第4土曜日 (自由参加)	7月16日	アイス屋さんを作ろう	11名
		8月20日	ヨーヨー釣りに挑戦しよう	7名
		10月22日	秋のリースを作ろう	4名
		2月18日	イースターの飾りを作ろう	5名

◎理科クラブ (わんぱくクラブ) ※自然観察ステーション事業へ参加し研究心を育む。	第3土曜日 第4土曜日 第5土曜日 (自由参加)	6月25日	草木染め	16名
		9月24日	陶芸教室	15名
		10月29日	竹で作るおもちゃ	6名
		12月17日	カラーキャンドルとミニツリー	17名
		2月25日	冬の野鳥観察会	11名

⑥放課後児童支援員認定資格研修の受講

受講日	研修会場	人数	内容
11月9・24・27・28日	郡山市労働福祉会館	1名	・放課後児童支援員として必要な知識・技能を習得する。 ・実践する際の基本的な考え方や心得を認識する。
12月9・10・12・13日	オンライン研修 (三春町役場会議室)	1名	
1月13・14・17・20日		2名	
2月3・4・7・10日		2名	

(3) 放課後子ども教室推進事業(放課後子ども教室)

全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようまほらっこ教室を開設し、児童クラブのない地域では、延長教室・長期休業中教室を実施した。

①実施状況

(令和5年3月末現在)

教室名	区分	小学校区	登録児童数	指導員等	開設日	開設日数
三春教室	通 常	三春小学校西校舎2階	37名	8名	月曜～金曜	167日
岩江教室	通 常	岩江小学校体育館	41名	8名	月曜～金曜	150日
御木沢教室	通 常	御木沢小学校音楽室	15名	5名	月曜～木曜	115日
中妻教室	通 常	中妻地区公民館	47名	9名	月曜～金曜	199日
	(延長)		42名	2名※1		199日
	(長期)		40名			32日
中郷教室	通 常	中郷地区交流館	47名	7名	月曜～木曜	153日
	(延長)		37名	2名※1	月曜～金曜	198日
	(長期)		33名			32日
沢石教室	通 常	旧沢石地区福祉館	46名	3名	火曜～木曜	108日
	(延長)		41名	3名※1	月曜～金曜	199日
	(長期)		40名			31日
小 計	通常教室		233名	40名		平均148日
	(延長教室)		120名	7名※1		平均198日
	(長期教室)		113名			平均31日
合 計			233名	47名		

※1 会計年度任用職員

②まほらっこ教室運営

総事業費	19,693,039 円
収入	【保護者負担金】 スポーツ安全保険料 187,200 円
	【補助金】 地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）（県 10/10） 7,900,212 円 ※報酬費等除く
主な支出内容	【運営関係】 まほらっこ教室ボランティア報償費 7,235,200 円 放課後子ども総合プラン推進事業運営委員報償費 81,000 円 施設等修繕費（まほらっこ沢石教室犬走土間コンクリート修繕等）167,478 円

③まほらっこ教室活動事業

ア まほらっこ教室訪問

○英語教育助手の教室訪問

各まほらっこ教室へ英語教育助手が月 1 回から 2 回訪問し、ボール遊びやゲームをしたり異文化交流を行っているが、新型コロナウイルス感染防止のため、訪問はなかった。

○県中教育事務所による教室訪問

県の地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）の推進を図るため、まほらっこ教室の訪問が実施された。

教室名	実施日	内容	参加者	場所
まほらっこ沢石教室	7 月 4 日	・子ども教室運営及び活動内容について（意見交換・活動見学）	県中教育事務所社会教育主事 2 名・所長・担当・コーディネーター 1 名・指導員 6 名	旧沢石地区福祉館
まほらっこ御木沢教室	7 月 6 日	・子ども教室運営及び活動内容について（意見交換・活動見学）	県中教育事務所総務社会教育課長 1 名・社会教育主事 2 名・課長・所長・担当・コーディネーター 1 名・指導員 4 名	御木沢小音楽室

イ まほらっこ教室安全管理員・活動指導員・会計年度任用職員訓練・研修等

事業名	参加人数	実施日	内容	場所
安全管理員・活動指導員等事前打合せ	44 名	4 月 4 日～ 4 月 21 日	・委嘱状交付 ・各教室事前打合せ	各教室
避難訓練（地震想定）	176 名	6 月 15 日～ 6 月 29 日	・施設内での身の安全の確保法講習 ・避難訓練（児童も一緒に実施）	各教室
避難訓練（火災想定）	135 名	11 月 2 日～ 11 月 17 日	・避難時の注意事項説明 ※三春教室はわんぱくクラブと合同実施	
県中域内家庭教育支援者研修会	4 名	12 月 4 日	「ペアレントトレーニング」を学ぶ 郡山家庭教育を支援する会 講師 圓谷 円 氏 他	郡山市労働福祉会館

※コーディネーター・安全管理員・活動指導員・会計年度任用職員合同打合せを随時実施

